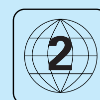
PIONEER
音と光の未来をひらく

DVD VIDEO / COMPACT disc DIGITAL AUDIO / COMPACT disc DIGITAL VIDEO

DVD プレーヤー

DV-S9

取扱説明書



NTSC

パイオニアの製品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。特に、本書および別冊の「安全上のご注意」は必ずお読みください。
なお、「取扱説明書」および「安全上のご注意」は「保証書」「ご相談窓口･修理窓口のご案内」と一緒にかならず保管してください。

●業務用には対応していません。

高調波ガイドライン適合品

❑初めに、「ご使用のまえに」（6ページ）、「接続のしかた」（46〜49ページ）をご覧ください。
❑10〜12ページをお読みいただければ、再生ができます。

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

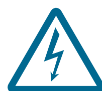
⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

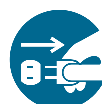
絵表示の例



△ 記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



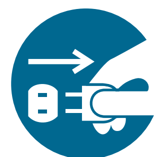
⃠ 記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



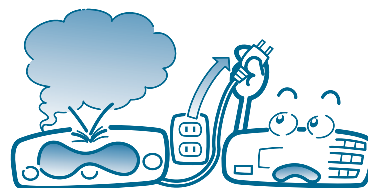
● 記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

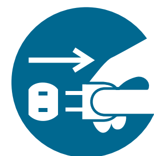
安全上のご注意（別冊の「安全上のご注意」もお読みください。）

⚠ 警告［異常時の処理］


プラグを抜け

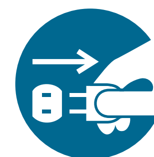
●万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。




プラグを抜け

●万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。




プラグを抜け

●万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



こんなことができます

原画像を忠実に再現する＊ための豊富な画質調整機能

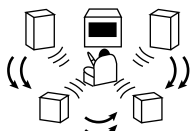
- コンポーネントフレームデジタルノイズリダクション（9 段階調整可能）
- 映像ノイズリダクション
- シャープネス（水平、垂直、独立、9 段階調整可能）
- D エクステンション
- クロマレベル（9 段階調整可能）
- Y/C タイミングアシャスター

D/A コンバータとしても使用

デジタル機器（DAT、CD 等）と本機をデジタル接続することで、本機を D/A コンバータとして使用できます。外部デジタルソースの高音質再生が楽しめます。

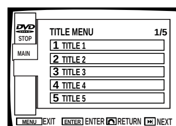
ドルビーデジタル＊

デジタルサラウンドアンプやサラウンドプロセッサーと接続して、5.1ch ドルビーデジタルサラウンド音声を楽しむことができます。



GUI 操作

パイオニア独自の美しい GUI 画面で画面を見ながらリモコンで操作ができます。ディスクにメニューが入っていなくても、プレーヤーの持っているメニュー画面で GUI 操作ができます。



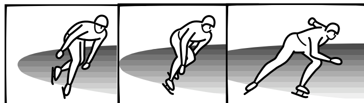
つづき再生（ラストメモリー）＊

映画等で途中でやめても次に同じ状態でつづきから見ることができます。



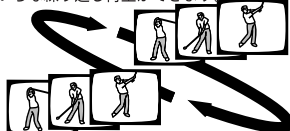
静止画、スロー再生、コマ送り＊

静止画、スロー再生、コマ送りができます。



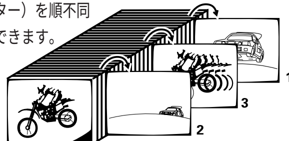
リピート再生＊

いろいろな繰り返し再生ができます。



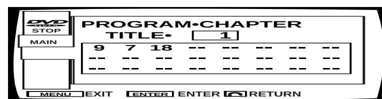
ランダム再生＊

曲（またはチャプター）を順不同に再生することができます。



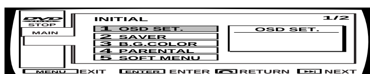
プログラム再生＊

好きなタイトルやチャプターを希望の順番に並べ換えて再生できます。



マルチアスペクト＊

ふつうの画面、ワイド画面、レターボックス画面の中からお好みの画面を選ぶことができます。



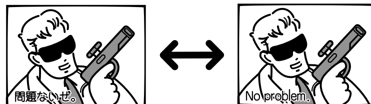
コンディションメモリー＊

よく見る DVD の下記の設定を記録し、その記録内容を自動的に呼び出します。

- **マルチアスペクト**
- **マルチ言語字幕**
- **マルチ音声**

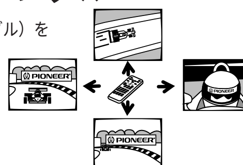
マルチ言語字幕＊

映画などで字幕の言語を切り換えて見ることができます。



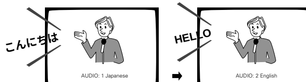
マルチアングル＊

見たいシーン（アングル）を選ぶことができます。



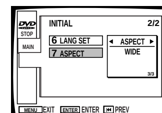
マルチ音声＊

複数の音声を収録してあるディスクではその音声を切り換えてお楽しみいただけます。



パレンタルレベル＊

再生する映画の視聴制限レベルを選ぶことができます。

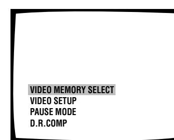


FL DIMMER

表示窓の明るさを 4 段階で選ぶことができます。

PBC 付きビデオ CD 対応

プレイバックコントロール（PBC）付きビデオ CD（バージョン 2.0）に対応し、ディスクによって 2 種類の再生を楽しむことができます。



パワーオンデモ表示

パワーオンデモ表示にすると、さまざまな表示がみられます。パワーオンデモ表示にするには ▶▶| ボタンを押しながら電源スイッチを押してください。
デモ表示は、いずれかのボタンを押すと解除します。

＊ マークはディスクによってできないものもあります。

この製品には、マクロビジョンコーポレーション及びその他の権利者が所有している米国特許の方法クレームその他の知的財産権で保護されている著作権保護のための技術が搭載されています。この著作権保護のための技術の使用に関しては、マクロビジョンコーポレーションの許可が必要ですが、家庭及びその他の限定された視聴に限っては許可を受けています。またリバースエンジニアリングや分解は禁止されています。

目 次

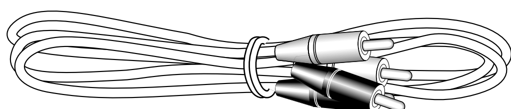
対応ディスク: DVD / CD / VIDEO CD

* ディスクの機能によっては働きません

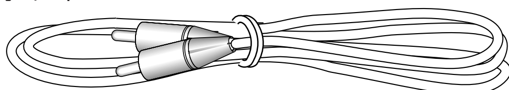
ご使用のまえに

付属品を確認しよう

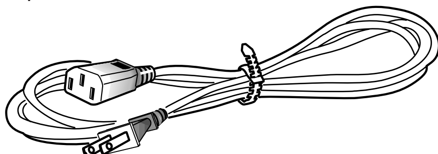
オーディオコード



ビデオコード



電源コード



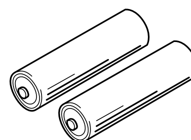
リモートコントロールユニット
（リモコン）



その他一緒に入っているもの

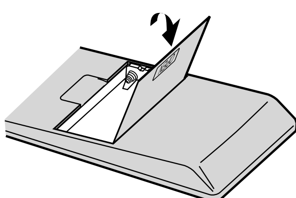
- ●保証書
- ●ご相談窓口・修理窓口のご案内
- ●取扱説明書（本書）
- ●安全上のご注意

単４形（R03）
乾電池……2 個



リモコンに電池を入れる

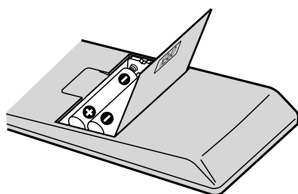
1



裏ブタを押しながら矢印の方向へ引く

●フタが開きます。

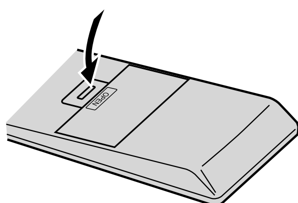
2



単４形電池を入れる

●乾電池のプラス（＋）とマイナス（－）の向きを乾電池の表示通りに入れてください。

3



フタを閉める

注意！

◆ 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。

◆ 乾電池は同じ形状のもので電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。

◆ 長い間（１ヵ月以上）使用しないときは、乾電池の液漏れを防ぐために乾電池を取り出してください。
もし、液漏れを起したときは、ケース内についた液をよくふきとってから新しい乾電池を入れてください。

使用上の注意

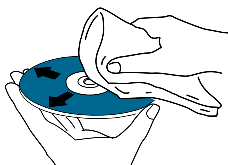
ディスクの取り扱いかた

■保管

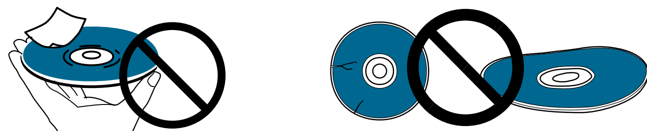
●必ずケースに入れ、高温多湿の場所や直射日光の当たる場所、極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。
●ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

■ディスクのお手入れ

●ディスクに指紋やホコリが付いた場合、音質や画質が低下することがあります。柔らかい布で内周から外周方向へ軽く拭いてください。

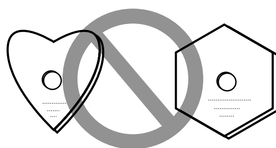


●ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。またレコードスプレー、帯電防止剤などは使用できません。
●ディスクの清掃には別売のディスククリーニングセット（JV-D11）の使用をおすすめします。
●汚れがひどい場合には、柔らかい布を水に浸し、よく絞ってから汚れを拭きとり、その後乾いた布で水気を拭きとってください。
●損傷のあるディスク（ひびやそりのあるディスク）は使用しないでください。
●レーベル面に紙やシールなどを貼付けたり、キズなどをつけないようにしてください。ノリなどがはみ出した場合、ディスクが取り出せなくなるなど故障の原因になります。**特に、レンタルディスクにおいてはラベルが貼ってある場合が多く、このような故障が起こる恐れがありますので、のりなどのはみ出しを確認してから、ご使用ください。**



特殊な形のディスクについて

本機では、特殊な形のディスク（ハート型や六角形等）は再生できません。故障の原因になりますので、そのようなディスクはご使用にならないでください。



レンズクリーナーについて

ご使用中にホコリなどにより不具合が発生したときはアフターサービスの項（57ページ）をお読みの上、清掃をご依頼ください。なお、市販されているCDレンズクリーニングディスクには、レンズを破損するあるいはディスクが取り出せなくなるおそれがありますのでご注意ください。

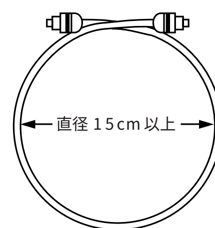
結露について

冬期などに本機を寒いところから温かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部（動作部やレンズ）に水滴が付きます（結露）。結露したままでは本機は正常に動作せず、再生ができません。結露の状態にもよりますが、本機の電源を入れて1〜2時間放置し、本機の温度を室温に保てば水滴が消え、再生できるようになります。
夏でもエアコンなどの風が、本機に直接あたると結露がおこることがあります。その場合は本機の設置場所を変えてください。



別売りの光ファイバーケーブル取扱上のご注意

●急な角度に折り曲げないでください。保管するときは、直径が15cm以上になるようにしてください。
●接続の際はしっかり奥まで差し込んでください。
●長さが3m以下のものを使用してください。
●プラグに傷やほこりが付着したときは、柔らかい布で拭いてから接続してください。



付属の電源コードについて

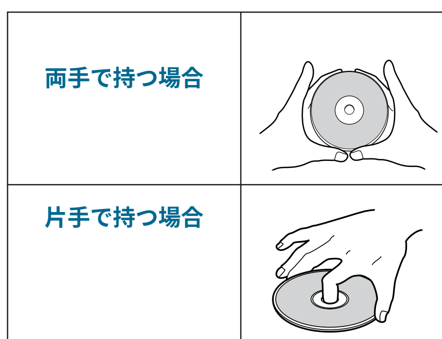
本製品の電源コードは、着脱式になっております。（機器側３Ｐプラグインソケット方式）
付属以外の電源コードのご使用は、お客様の責任においてご使用いただくことになります。

本機で再生できるディスクの種類

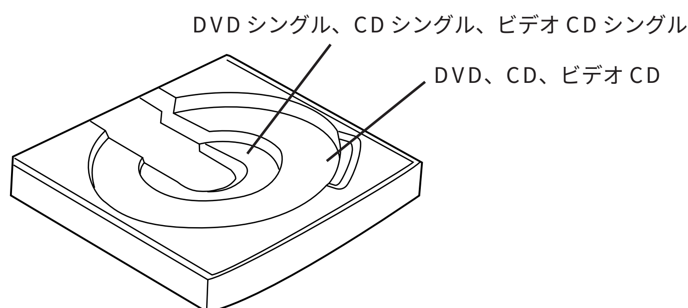
●右表に表示されているマークはディスクレーベル、またはジャケットに付いています。
本機は右表のディスクをアダプター無しで、再生することができます。
●故障などを防ぐため、8cm アダプター（CD 用）は使わないでください。

本機は NTSC（日本のテレビ方式）に適合しています。
右表以外のディスクは使用できません。
＊ DVD の再生時間は、1 秒間に 4.7Mbit を転送した場合のものです。

ディスクの持ちかた



ディスクテーブル



注意！
◆ 本機の後面部に表示されているリージョン No.（56 ページ、用語を参照）を含まない DVD は再生できません。

再生できるディスクの種類とマーク	大きさ／再生面		最大再生時間
DVD ビデオ	DVD ビデオ		デジタル音声 デジタル映像 （MPEG 2 方式）
	12cm/ 片面	1 層	133 分 (4.7GB) *
		2 層	242 分 (8.5GB) *
	12cm/ 両面	1 層	266 分 (9.4GB) *
		2 層	484 分 (17GB) *
	DVD ビデオ		デジタル音声 デジタル映像 （MPEG 2 方式）
	8cm/ 片面	1 層	41 分
		2 層	75 分
	8cm/ 両面	1 層	82 分
		2 層	150 分
ビデオ CD	VIDEO CD 12cm/ 片面		デジタル音声 デジタル映像 （MPEG 1 方式） 74 分
	VIDEO CD シングル 8cm/ 片面		デジタル音声 デジタル映像 （MPEG 1 方式） 20 分
CD	CD 12cm/ 片面		デジタル音声 74 分
	CD シングル 8cm/ 片面		デジタル音声 20 分

上記以外は再生できません。
故障などを防ぐため、上記以外は再生しないでください。
（例）　DVD オーディオ、DVD-ROM、CD-ROM、CD-R 等

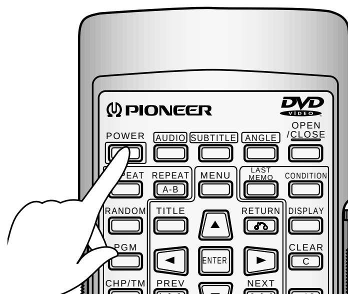
基本操作



DVD/CD/ビデオ CD を再生する

DVD CD Video CD

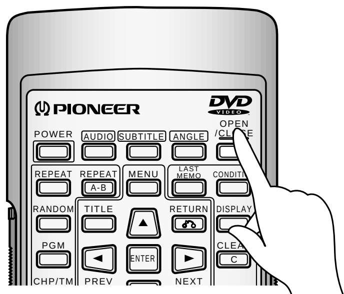
1



POWER ボタンを押す

●本体のSTANDBYインジケーターが消灯します。

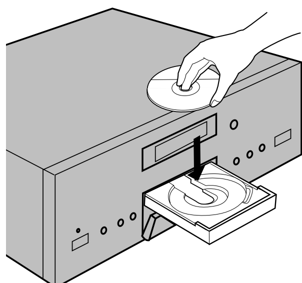
2



OPEN/CLOSE▲ ボタンを押す

●本体前面では■/▲ボタンを押します。
●ディスクテーブルがでてきます。

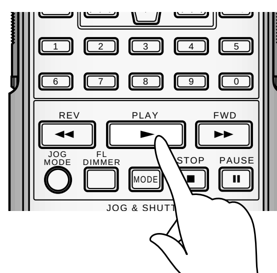
3



ディスクを置く

●レーベル面を上にして、ディスクテーブルのガイドに正しく合わせて置きます。ずれていると再生できないことがあります。

4



PLAY▶ ボタンを押す

●ディスクテーブルが引き込まれ、再生が始まります。
●本体前面では▶/❙❙ボタンを押します。
●ディスクによっては、メニュー（選択画面）が表示されます。メニューが表示された場合は16ページを参照してください。

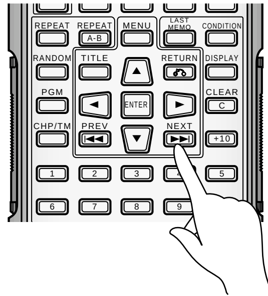
注意！

◆再生可能地域番号（リージョンNO.）（56ページ用語を参照）が適合していないDVDは再生できません。（本機の再生可能地域番号は「2」です。）
◆DVDビデオ以外のDVDは再生できません。
◆操作中に次のマークがテレビ画面に出ることがあります。
：本機自体が禁止している操作をしたとき
：ディスク自体が禁止している操作をしたとき

表示部消灯インジケーター
■/▲ボタン
▶/❙❙ボタン
STANDBY インジケーター
ディスクテーブル

チャプター（トラック）を進める／戻す

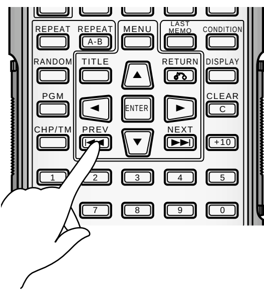
次のチャプター（トラック）へ進む



NEXT ▶▶| ボタンを押す

●押すと次のチャプター（トラック）に進みます。

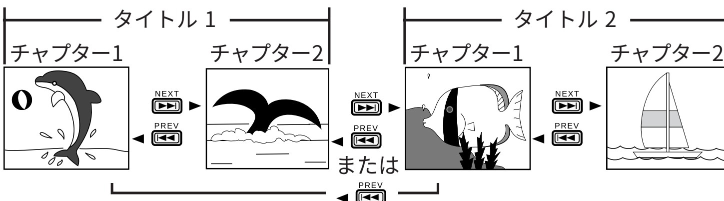
前のチャプター（トラック）へ戻る



PREV |◀◀ ボタンを押す

●一度押すと再生しているチャプター（トラック）の初めに戻ります。
●さらに押すと、ひとつ前のチャプターに戻ります。

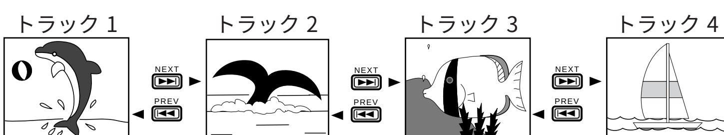




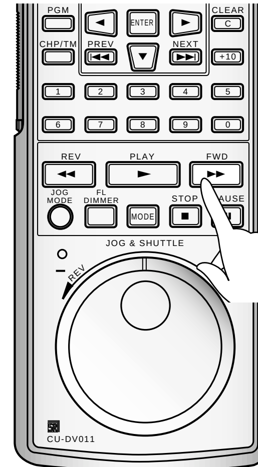








早送りのしかた



２つの方法があります。

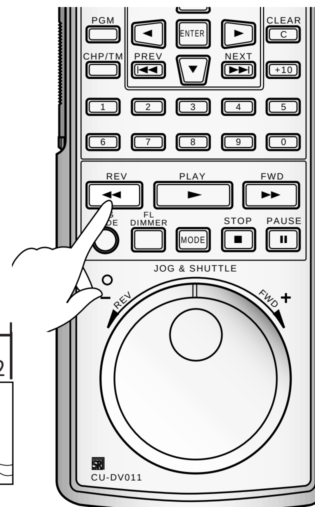
FWD ▶▶ ボタンを押し続ける

●目的のところまできたらFWD ▶▶ボタンを離します。続きを再生します。
●画面で"SCAN"表示が点滅から点灯表示に変ったら、ボタンから手を離しても、早送りし続けます。
目的のところまできたら PLAY ▶ ボタンを押してください。

シャトルリングを右に回す

●回す量により、ふつうの速度から約３０倍速まで変化します。手を離すとふつうの速度に戻ります。この場合、"SCAN"表示は点灯しません。

早戻しのしかた



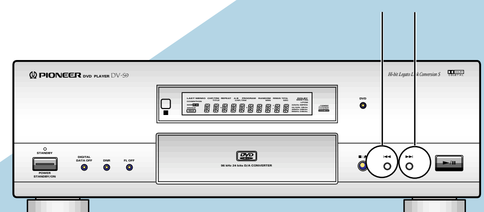
２つの方法があります。

REV ◀◀ ボタンを押し続ける

●目的のところまできたらREV ◀◀ボタンを離します。再生します。
●画面で"SCAN"表示が点滅から点灯表示に変ったら、ボタンから手を離しても、早送りし続けます。
目的のところまできたら PLAY ▶ ボタンを押してください。

シャトルリングを左に回す

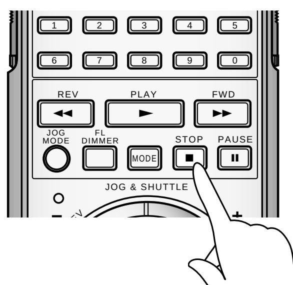
●回す量により、ふつうの速度から約３０倍速まで変化します。手を離すとふつうの速度に戻ります。この場合、"SCAN"表示は点灯しません。



基本操作 / 応用操作 / いろいろな設定 / 準備 / その他

終了する

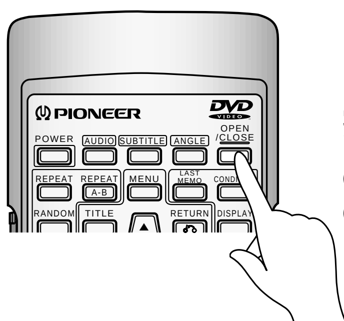
1



STOP■ ボタンを押す

●本体前面では■/▲ を押します。
●再生が終わります。

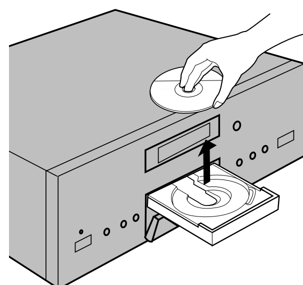
2



OPEN/CLOSE▲ ボタンを押す

●本体前面では■/▲ を押します。
●ディスクテーブルが出てきます。

3



ディスクを取り出す

4

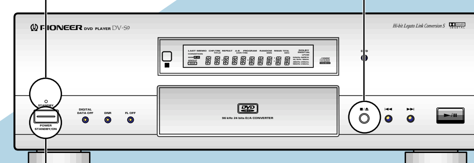


POWER ボタンを押す

●ディスクテーブルが閉まり、電源が切れて STANDBY インジケーターが点灯します。

STANDBY インジケーター

■/▲ ボタン



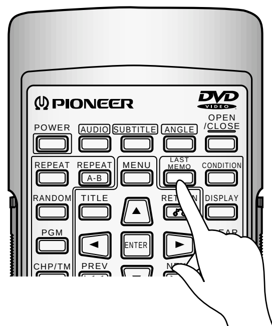
POWER ボタン



途中まで見た後の続きを見ることもできます。13 ページを参照してください。

つづきから見る（つづき再生）

つづきから見る場所を記憶させるとき（ラストメモリー）



再生中にLAST MEMOボタンを押す

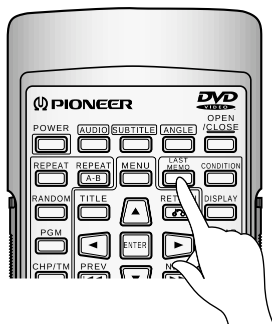
●本体前面表示窓のラストメモリーインジケーターが点灯します。
● POWERボタンで電源を切るかSTOP■ボタンで再生を停止します。



ポイント

●ラストメモリーは記憶した場所だけでなく、映像・音声・表示などの各種設定も記憶します。
●ラストメモリーしたディスクでも、PLAY►ボタンで再生すると、ディスクの始めから再生します。
●つづき再生したディスクはラストメモリーが自動的に消去されます。
● DVDは、ラストメモリー登録ディスクの枚数が5枚を超えたときは古い記憶（一番最初にメモリーしたもの）から消去、上書きされます。
●ビデオCDは、ディスクを取り出すと記憶した内容は消えます。
● DVDの場合は、タイトルによっては機能しないことがあります。

つづきから見るとき（つづき再生）



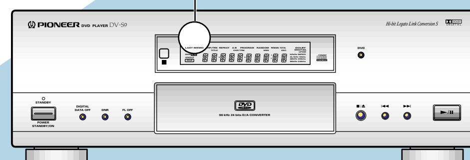
停止中にLAST MEMOボタンを押す

●ディスクを入れたままPOWER OFFしたときは、電源が入り自動的に再生が始まります。

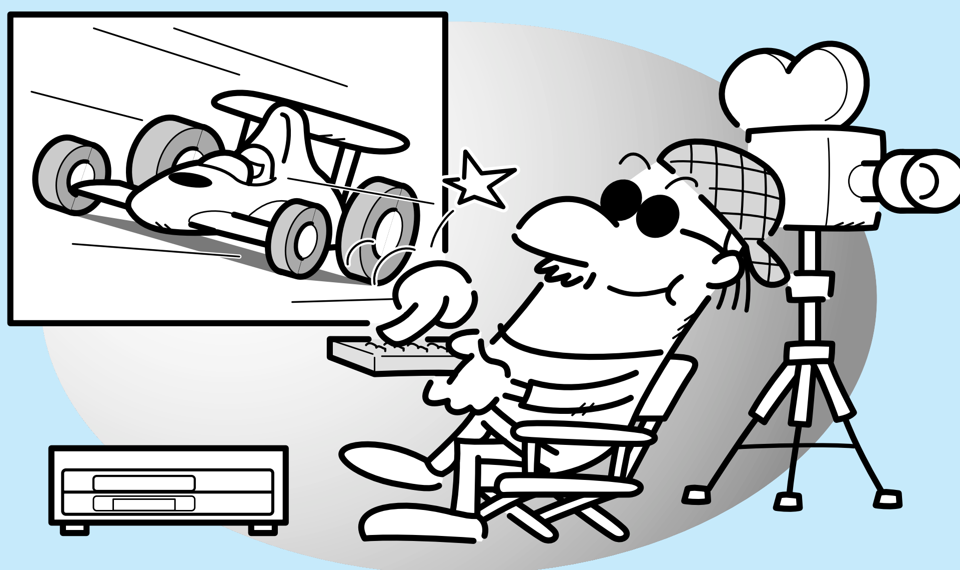


注意！

◆ CDでは、つづき再生はできません。
◆ 電源が入っているときに、停電や電源コードが抜かれて電源が切れてしまったときは、設定内容が消えてしまいます。
また、電源コードを抜くときは、必ず本体のPOWERボタンまたはリモコンのPOWERボタンを押して表示窓の「-off-」表示が消えてから行ってください。
◆ ビデオCDは、PBC再生をしたときは、つづき再生ができないものがあります。



応用操作



選択画面（メニュー）を選んで再生する

DVD、ビデオ CD では、ディスクによってメニュー（選択画面）機能を持っているものがあります。
本機では、メニューから選んでお好みのタイトルや曲が選べます。

メニューから選んで再生するには

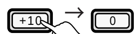
① PLAY ► を押す。

●メニュー画面が表示されます。メニュー画面は、ディスクに記録されたものです。ディスクごとに異なります。
●プレイバックコントロール（PBC）付きビデオ CD では表示窓に PBC と表示されます。

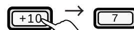
1	POPS
2	JAZZ
3	COUNTRIES
4	R&B
5	CLASSICS

② たとえば、②ジャズを選ぶときは数字ボタンの ② を押す。

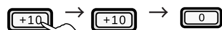
●10 以上の番号を選ぶ場合は、+10 ボタンを使います。
・10 を選ぶとき



・17 を選ぶとき



・20 を選ぶとき



●選んだタイトルまたは曲を再生します。
●DVD では、▲・▼ で番号を選んで、その後 ENTER を押しても選べます。

再生中にメニュー画面に戻るには

DVD のとき

① TITLE を押す。

② MENU を押す。

●また、MENU を押すとタイトル内のメニュー画面になります。

●ディスクのメニューに従って操作してください。

ビデオ CD のとき

RETURN を押す。

PBC再生中に RETURN を押すとメニューが表示されます。PBC 再生では、プレーヤーの操作方法および動作は、ディスクに記録されているPBC信号によるため、ディスクによって異なります。詳しくは、ディスクの説明書をご覧ください。

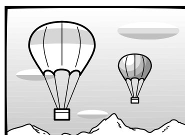
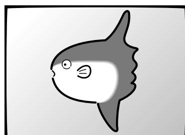
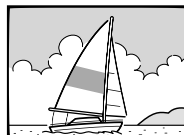
ポイント

●PBC付きビデオCDではメニューを出さずに再生することもできます。停止中に数字ボタンを押します。例えば、トラック 1 から再生するには、数字ボタンの 1 を押します。
●タイトルによってはメニューを使って選択することもできます。この場合は表示が出ているときに MENU を押して、メニュー画面を出し、選択してください。

注意！

◆ビデオ CD では、メニューを表示して再生したときは、プログラム再生、ランダム再生、リピート再生、トラック／タイムサーチの機能は働きません。
◆DVD ではメニューが表示されない場合があります。
◆ビデオ CD で、PBC オンの場合にはプレーヤーの動作はディスクにより異なります。詳しくはディスクの取扱説明書をご覧ください。

タイトル 1　　タイトル 2

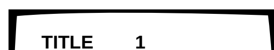
DVD

見たい場面を探す（サーチ）その 1

基本操作　応用操作　いろいろな設定　準備　その他

タイトル番号で直接探す

① 再生中は TITLE を押す。（停止中は TITLE を押さずに ② へ。）



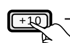
●タイトル番号が画面に点滅表示します。

② 数字ボタンで直接タイトル番号を選ぶ。

・タイトルの 3 を選ぶとき





・タイトルの 10 を選ぶとき 

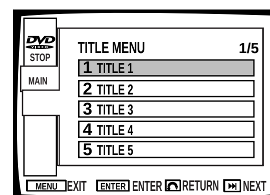
→ 

●タイトル番号点滅時に TITLE をくり返し押すと、タイトル番号が 1 つずつ進みます。希望の番号を選んで PLAY を押しても選ぶことができます。

メニューで探す

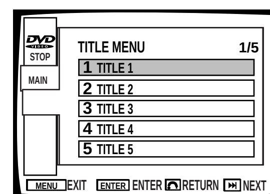
① TITLE を押す。（停止中なら ③ へ。）

② 再生中は MENU を押す。



③ ▲ ▼ ボタンでタイトル番号を選ぶ。

●直接、数字ボタンでも選べます。選んだタイトルをすぐに再生します。



④ ENTER を押す。

●選んだタイトルを再生します。

PIONEER　DVD
POWER　AUDIO　SUBTITLE　ANGLE　OPEN/CLOSE
REPEAT　REPEAT A-B　MENU　LAST MEMO　CONDITION
RANDOM　TITLE　RETURN　DISPLAY
PGM　ENTER　CLEAR
CHP/TM　PREV　NEXT　+10
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
REV　PLAY　FWD
JOG MODE　FL DIMMER　MODE　STOP　PAUSE
JOG & SHUTTLE
REV　FWD
CU-DV011

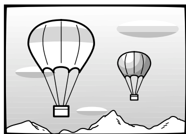
ポイント

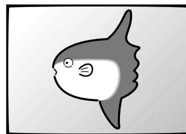
●直接、数字ボタンでも選べます。選んだタイトルをすぐに再生します。
●タイトルによってはメニューを使って選択することもできます。この場合は表示が出ているときに MENU を押して、メニュー画面を出し、選択してください。

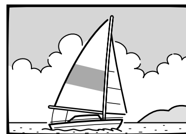
注意！

◆タイトルを連続して再生できません。
◆複数のタイトルを連続して再生するには、タイトルをプログラムして、プログラム再生（19 ページ）してください。
◆DVD では、ディスクによりサーチ機能を禁止しているものがあり、その場合は 🚫 マークが画面に出ます。
◆ディスクによってはメニューが表示されない場合があります。











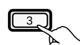


見たい場面を探す（サーチ）その 2

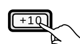
チャプター／トラック番号で探す

直接数字ボタンで選ぶ。

例①チャプター／トラックの 3 を選ぶとき



例②チャプター／トラックの 17 を選ぶとき

 → 

●DVD では、停止中の操作は、見たい場面を探す（サーチ）その 1（17 ページ）になります。

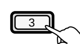
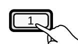
チャプター／トラック番号が大きいとき

① CHP/TM ボタンを押す。

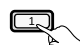
●チャプター / トラック番号が点滅します。
●DVD では、停止中はメニューが表示される場合があります。この場合は右の " メニューでチャプター探す " を参照してください。

② チャプター／トラック番号を数字ボタンで指定する。

例①チャプター／トラックの 31 を選ぶとき

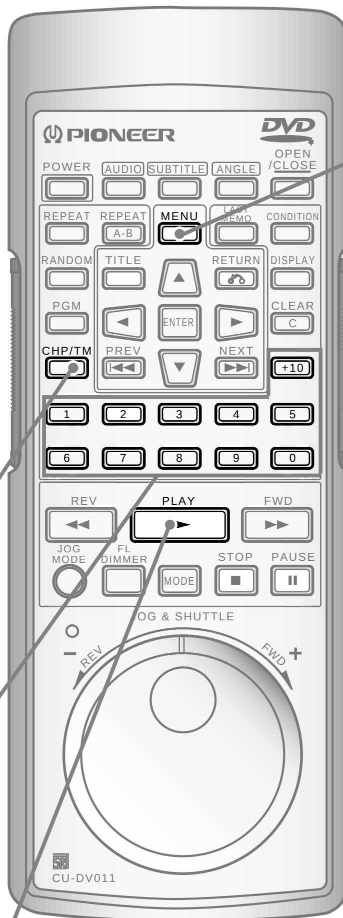
 → 

例②チャプター 187 を選ぶとき

 →  → 

③ PLAY ボタンを押す。

●指定したチャプター／トラックを再生します。



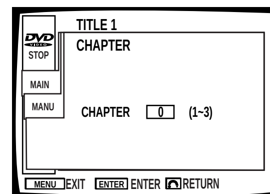
メニューでチャプターを探す

① CHP/TM ボタンを押す。

●停止中はそのまま③へ進んでください。

② MENU を押す。

チャプターのメニューが表示されます。



③ 画面の表示に従って選ぶ。

●タイトルによってメニューは表示されない場合があります。この場合は左の方法を御覧下さい。

時間で探す（タイムサーチ）

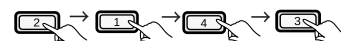
① CHP/TM を 2 回押す。



●チャプターのない DVD の場合は、1 回押すとタイム表示になります。

② 数字ボタンを押して、タイムナンバーを指定する。

例① 21 分 43 秒の場合



●DVD ではタイトル間をまたがって、時間の選択はできません。

③ PLAY ボタンを押す。

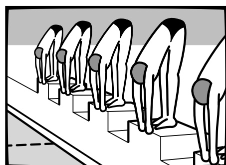
●指定したタイムナンバーの画面から再生します。

ポイント

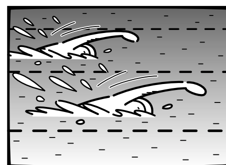
●点滅中のタイトル、チャプター / トラック／タイムの表示を消すには、CLEAR ボタンを 2 回押してください。
●タイトルによってはメニューを使って選択することもできます。この場合は表示が出ているときに MENU を押して、メニュー画面を出し、選択してください。

注意！

◆CD ではタイムサーチできません。
◆DVDでは、タイトルによっては機能しないことがあり、そのときは画面に 🚫 マークが出ます。
◆DVD、ビデオ CD のタイムサーチはタイムナンバーより少しずれた位置から再生が始まる場合があります。
◆DVD では、停止中のタイムサーチはできません。
◆ビデオ CD の PBC 再生時には、上記操作によるサーチはできません。







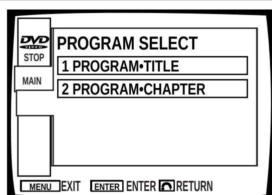
DVD CD Video CD

希望の順番に並べ換えて再生する（プログラム再生）

プログラムの設定（DVD）

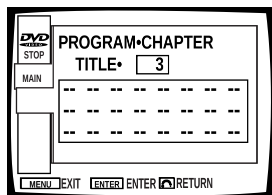
① PGM を押す。

② 数字ボタンを押してプログラムの種類を選ぶ。

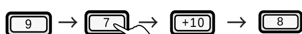


③ チャプターを選んだときは、プログラムするチャプターがあるタイトルを ▲ を押して、タイトルに合わせてから、数字ボタンで選ぶ。

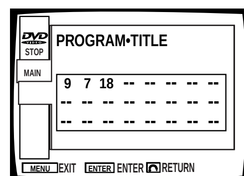
●タイトルを選んだときは、手順4へ進みます。

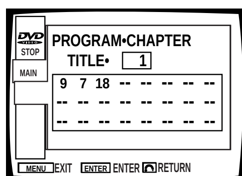


④ DVD のタイトルまたはチャプターを 9→7→18 の順に設定する場合。



DVD のタイトル　　DVD のチャプター





⑤ ENTER を押す。

●設定した順に再生します。

ポイント

- プログラムは最大 24 ステップです。
- 数字ボタンを押し間違えたときは、CLEAR C を押してから正しい数字ボタンを押してください。
- チャプターナンバーの記録されていないディスクではプログラム再生はできません。
  DVD の場合、タイトル画面に マークが出ます。

一時停止（ポーズ）をプログラムする：
数字のかわりに PAUSE ॥ を押すと画面では ॥ と表示し、ポーズがプログラムできます。初めと最後はできません。

プログラムの設定（ビデオ CD・CD）

① PGM を押す。

② 9 曲目→7 曲目→18 曲目の順に設定する場合。



数字ボタンを順番に押します。

③ ENTER を押す。

●設定した順に再生します。

プログラムの確認、追加、削除のしかた

① PGM を押す。

② DVD の場合は、数字ボタンを押してプログラムの種類を選び、ENTER を押す。
●上記手順で確認ができます。

③ 追加する場合は、数字ボタンを押して曲を選び PGM を押す。
●上記手順でプログラムの追加ができます。

④ 削除する場合、◀ ▶ で曲を選び CLEAR C を押す。
●ディスクテーブルを開いてもプログラムはすべて消えます。

プログラム再生を止めるには



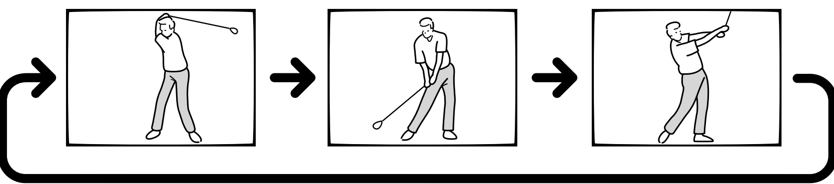
STOP ■ を押す。

●プログラム再生を終了します。

注意！

◆ビデオ CD をメニューを使って再生（PBC時）しているときは、プログラムできません。
◆チャプターの移り変わりのときに、プログラムしていないチャプターの画面が見えることがありますが、故障ではありません。
◆DVD によっては、プログラムできないディスクがあります。
そのようなディスクでプログラムすると、画面に マークが表示されます。
◆チャプタープログラムは同じタイトル内のチャプターのみプログラムができます。

基本操作　応用操作　いろいろな設定　準備　その他



DVD CD Video CD

繰り返し見る・聞く（リピート再生）

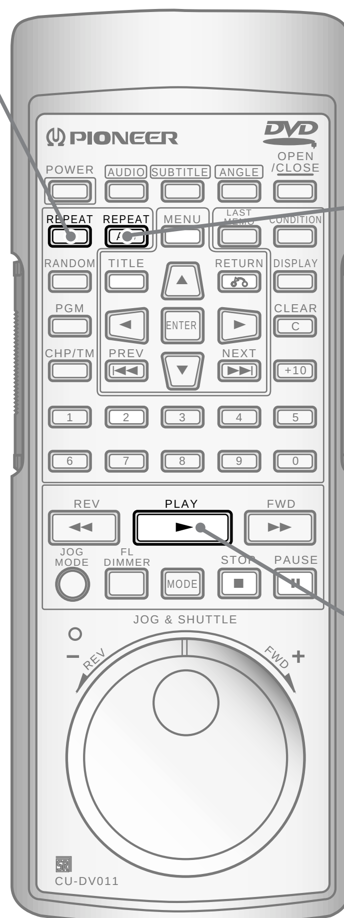
チャプター / トラックをリピート再生する

繰り返したいチャプターや曲の再生中に REPEAT を 1 回押す。

1 つのタイトルをリピート再生する

繰り返したいタイトルの再生中に REPEAT を 2 回押す。

●DVD では、タイトルの終わりまで再生するとタイトルの始めに戻り、繰り返し再生します。
●CD、ビデオ CD では、ディスク 1 枚が 1 つのタイトルなので、全てを繰り返し再生します。



指定した箇所をリピート再生する

繰り返したい箇所の始めと終わりで REPEAT A-B を押す。

指定した場所に戻る

① 希望の場所で REPEAT A-B を押す。

② 戻りたい時に PLAY ボタンを押す。

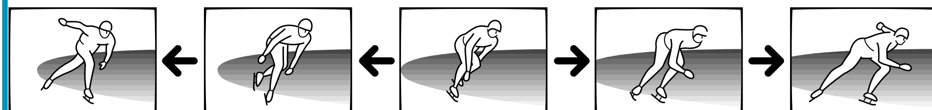
●指定した場所を取り消すには、CLEAR C を押します。

ポイント

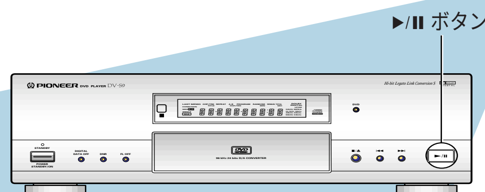
●プログラム再生中に REPEAT ボタンを押すと、プログラムを繰り返し再生します。
●リピート再生を止めるには、CLEAR C を押します。リピートモードは解除されますが、再生はそのまま続きます。
●DVD ではタイトルをまたいだ繰り返し再生はできません。

注意！

◆DVD の場合、タイトルによりリピート再生できないときがあります。その場合は マークが画面に出ます。
◆ビデオ CD の PBC 再生時には、リピート再生できません。リピート再生するには、メニューを出さずに再生（16 ページ参照）してから REPEAT を押してください。



静止画／スロー再生／コマ送り



基本操作
応用操作
いろいろな設定
準備
その他

コマ送り再生－画像を 1 コマずつ見る

① JOG MODE を押す。

●ジョグモドインジケーターが点灯します。

② をゆっくり回す。

FWD→：回すごとに 1 コマずつ進みます。

REV→：回すごとに 1 コマずつ戻ります。（ビデオ CD はできません）

●回転を止めると静止画再生になります。
●ジョグを回す速さによってスロー再生することができます。（ジョグを回している間のみ）

静止画再生－画像を止めて見る

PAUSE ボタンを押す。

●本体前面では▶/IIボタンを押します。
●DVD で静止画がブレるときは、26、27 ページを参照し、「フィールド」に設定してください。

スロー再生－スローにして見る

① PAUSE ボタンを押す。

●本体前面では▶/IIボタンを押します。

② シャトルリングを回す。

FWD→：回す角度により、スロー再生スピードを 4 段階（1/16、1/8、1/4、1/2）で調節できます。

REV→：回す角度により、スロー再生スピードを 2 段階（スロー1、スロー2）で調節できます。（ビデオ CD はできません）

●スロー再生スピードは、シャトルリングを離しても保持されます。

注意！

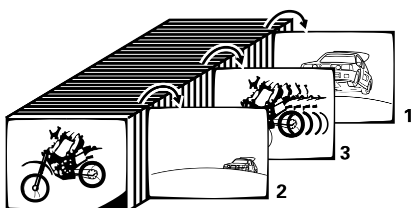
◆静止画、コマ送り、スロー再生中の音声は聞こえません。
◆ディスクによっては、一時停止できないディスクもあります。その場合は マークが画面に出ます。
◆REV（左）方向のコマ戻しは、FWD（右）方向のコマ送りに比べスムーズではありません。
これは、ディスクの記録方式（MPEG）によるものです。
◆ビデオ CD の中にはスロー再生がスムーズにできないものがあります。また、REV（左）方向のスロー再生はできません。

ポイント

●普通の再生に戻すには、PLAY ▶（本体の場合は▶/II ボタン）を押します。

DVD CD Video CD

順不同で再生する（ランダム再生）



ランダム再生をする

DVDでは…

1つのタイトル内のチャプターをランダム再生する

RANDOM を1回押し、ENTER を押す。

●画面に「RANDOM CHP」と表示し、タイトル内のチャプターを順不同に再生します。

タイトルをランダム再生する

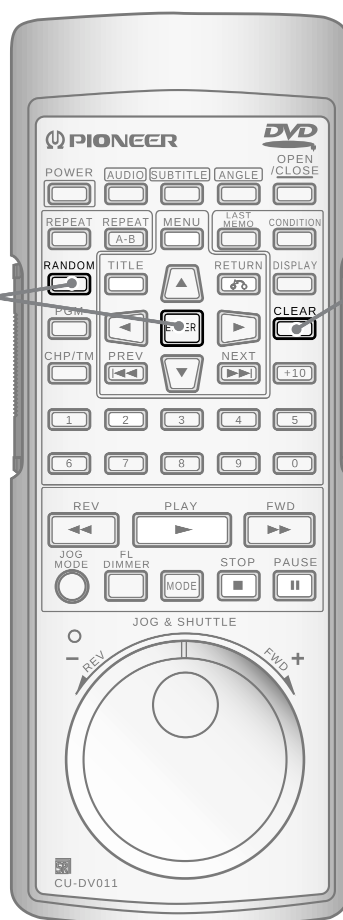
RANDOM を2回押し、ENTER を押す。

●画面に「RANDOM TITLE」と表示し、タイトルを順不同に再生します。

CD、ビデオCDでは…

RANDOM を押す。

●画面に「RANDOM」と表示し、順不同に再生します。



ランダム再生を止める

CLEAR を押す。

●通常再生に戻り、現在再生されているチャプター／トラックのあとを順番に再生していきます。

ランダム再生中に：

● NEXT を押すと、プレーヤーが他のトラックを順不同に選んで再生します。

● PREV を押すと、現在再生中のトラックを始めから再生し直します。

注意！

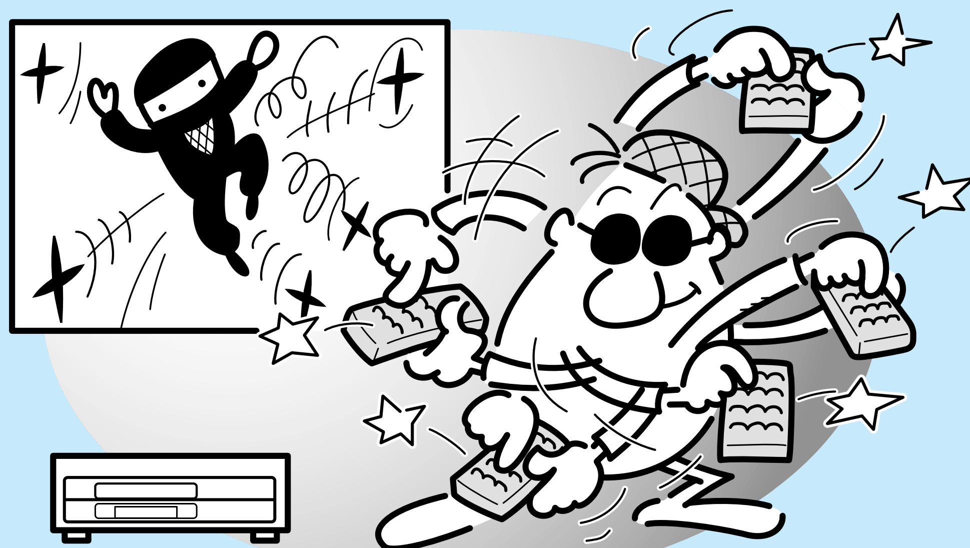
◆ビデオCDでは、メニューを表示して再生したとき（PBC再生）は、ランダム再生できません。ランダム再生をするには、メニューを出さずに再生してから RANDOM を押してください。（16ページ参照）

◆プログラムした内容をランダムに再生することはできません。

◆DVDの場合、タイトルによっては、ランダム再生できないものがあります。その場合は マークが画面に出ます。

◆ランダム再生を繰り返し再生することはできません。

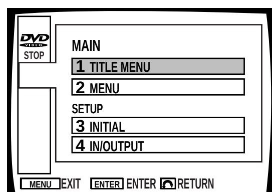
いろいろな設定

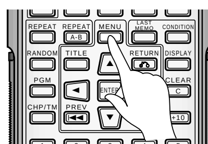


ワイドテレビ用ソフトの設定（マルチアスペクト）

DVDではワイドテレビに対応して、スクイーズ（圧縮映像）のものがあります。通常のテレビで、このようなDVDを再生すると画面がタテ長になることがあります。このようなとき、アスペクト機能を使うと通常の映像にすることができます。

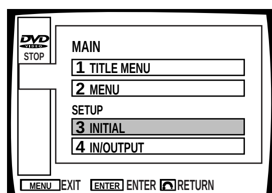
1. 停止中に MENU を押す

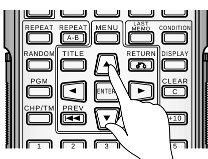




●メインメニュー画面が表示されます。

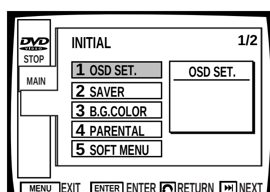
2. ▲ ▼ でINITIAL（初期設定）を選択する

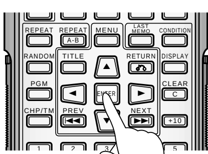




●初期設定のボタンが青く表示されます。

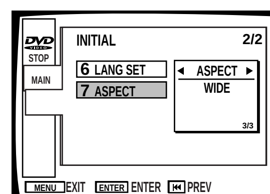
3. ENTER を押す

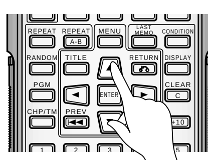




●初期設定画面が表示されます。

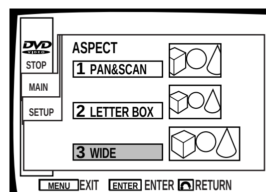
4. ▲ ▼ でASPECT（アスペクト）を選ぶ





● ▼ を押し続けると、次頁の上記画面になります。

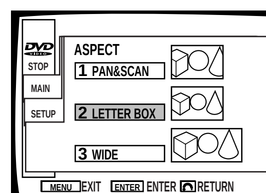
5. ENTER を押す

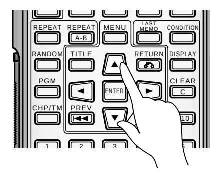




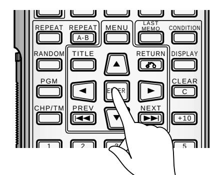
●アスペクト画面が表示されます。

6. ▲ ▼ でお好みのモード（PAN & SCAN, LETTER BOX, WIDE）を選択する





7. ENTER を押す



●ご希望の画面に切り換わります。

アスペクト切換のできるDVDの場合にはテレビに合わせて切り換えてください。

ディスク	アスペクト切換	ワイドテレビ（16:9）	通常のテレビ（4:3）
16:9	WIDE		
	PAN & SCAN		
	LETTER BOX		
4:3			

上の表の　　を選ぶと縦横の比率の正しい映像になります。
アスペクトの切換ができるか、できないかはディスクによります。ディスクのジャケット等で確認してください。
アスペクトの切換ができないディスクの場合にはテレビ側で画面を調整してください。

注意！

◆ 電源が入っているときに、停電や電源コードが抜かれて電源が切れてしまったときは、設定内容が消えてしまいます。
また、電源コードを抜くときは、必ず本体の POWER ボタンまたはリモコンの POWER ボタンを押して表示窓の「-off-」表示が消えてから行ってください。

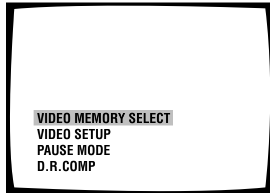
ポイント

● 通常のテレビは横 4：縦 3、ワイドテレビやハイビジョンテレビは横 16：縦 9 の比率になっています。この横と縦の比率をアスペクト比と呼んでいます。

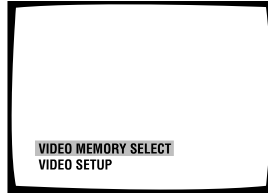
画質・音質を切り換える

1. MODE を押すと、次の画面になります。

DVD の場合



ビデオ CD の場合

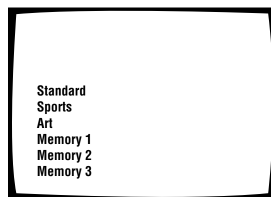


2. ▲ ▼ を押して選択した後、ENTER を押します。

画質切り換え ：VIDEO MEMORY SELECT（下を参照）
：VIDEO SETUP（下を参照）
静止画切り換え： PAUSE MODE（次ページを参照）
音質切り換え ： D.R.COMP（次ページを参照）

画質を切り換える（VIDEO MEMORY SELECT/VIDEO SETUP）

VIDEO MEMORY SELECT（画質メモリ選択）を選んだとき



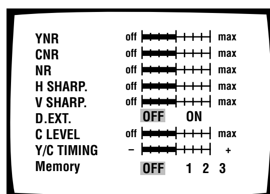
▲ ▼ で選択した後、ENTER を押します。

STANDARD：標準の画質です。
SPORTS：スポーツに的した画質で楽しめます。
ART： 表現力の豊かな画質で楽しめます。
MEMORY1～3：下記で画質調整した内容を呼び出すとき。

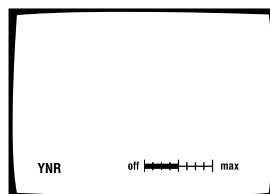
注意！

◆上記のモードが1つも選択されていない場合があります。これはビデオ設定で変更している場合を表わしています。また、5秒間放置すると自動的に消えます。

VIDEO SETUP（画質調整）を選んだとき



➡ 5秒後



注意！

◆ 5秒間放置すると、全画面表示から1項目表示になります。さらに25秒間表示すると消えます。
1項目表示から全画面表示にしたい場合は RETURN を押します。
◆ C LEVEL はコンポーネント信号には働きません。
◆ C LEVELは業務モニタなど一部のテレビでは効果がありません。

▲ ▼ で選択し、◀ ▶ で調整します。

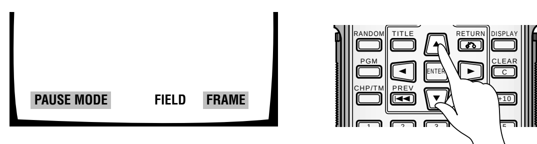
YNR：輝度（Y）信号の NR の調整をします。
CNR：色（C）信号の NR の調整をします。
NR ：映像信号のノイズを除去します。
H SHARP：水平方向のシャープネスを調整をします。
V SHARP：垂直方向のシャープネスを調整をします。
D－EXT ：黒色の浮きを補正し、立体間のある引き締まった映像を再現します。
C LEVEL ：色の濃さを調整します。色のりの多いアニメ等で効果があります。
Y/C TIMING：ソフトの制作過程等に発生する映像の色ズレを調整します。輝度と色差の信号を同期させ、DVD本来の美しい映像を再現します。
Memory ：画質設定を記憶します。1、2、3 のいずれかを選び、ENTER を押すと、記憶します。

（前ページ上段より続く）

静止画の状態を切り換える（PAUSE MODE）

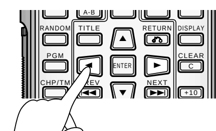
静止画にしたとき、画面がブレるときは、フィールドにします。

ポーズモードを選んだとき



◀ ▶ ボタンで、フィールドまたはフレームに合わせた後、ENTER を押す。

押すごとに切り換わります。



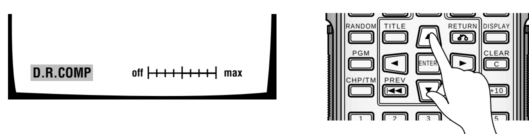
（前ページ上段より続く）

音質を切り換える（D.R. COMP）

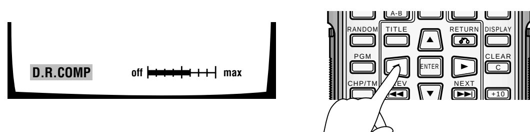
ダイナミックレンジコンプレッションのことです。DVD では、音声のダイナミックレンジが広くなっています。お手持ちのステレオシステムやテレビで会話等の音声が聞きづらい場合に設定します。

- DR.COMP は、ドルビーデジタル（AC-3）で記録されたディスクにのみ働きます。

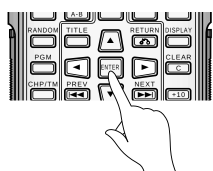
D.R. COMP を選んだとき



1. ◀ ▶ ボタンで、変化量を調整する



2. ENTER を押す



基本操作
応用操作
いろいろな設定
準備
その他

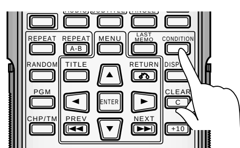
よく見るDVDの各種設定を記憶させる（コンディションメモリー）

よく見るDVDの設定内容を記憶させることができます。設定は、ディスクを出したり、電源を切っても記憶されています。記憶したディスクを入れると、前回の内容が自動的に呼び出されます。

記憶できる設定内容は下記の4つです。これらの設定をした後、コンディションメモリーすると、これらの設定内容を記憶しておけます。

- ●マルチアスペクト（24ページ）
- ●マルチ音声（29ページ）
- ●マルチ言語字幕（30ページ）
- ●位置（40ページ）

再生中に CONDITION を押す



・画面に「CONDITION」と表示します。

注意！

◆ 電源が入っているときに、停電や電源コードが抜かれて電源が切れてしまったときは、設定内容が消えてしまいます。
また、電源コードを抜くときは、必ず本体のPOWERボタンまたはリモコンのPOWERボタンを押して表示窓の「-off-」表示が消えてから行ってください。

記憶してあるディスクを入れると…

画面に「CONDITION」と表示し、前に設定した内容になります。

記憶してある内容を消すには

記憶してあるディスクを入れ、画面に「CONDITION」の表示中に、CLEAR C ボタンを押します。そのディスクの記憶内容が消されます。

ポイント

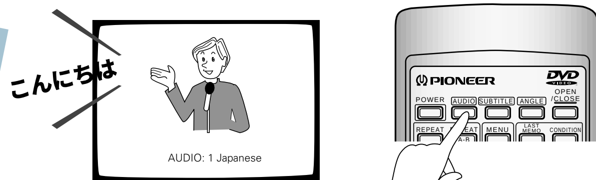
- ● 一度設定した内容は、何度再生しても保持されます。
- ● 記録できる枚数は最大で30枚分です。それを超えると、古い記録から消されて、新しく記録した内容になります。古い記録でも、呼び出されると最新の記録となります。
- ● 設定を変更したい場合は、アスペクト、字幕言語、音声のいずれかを設定しなおし、再生して CONDITION を押します。
- ● ディスクによっては自動的にマルチ音声等、切り換わるものがあります。



音声言語を選ぶ（マルチ音声）

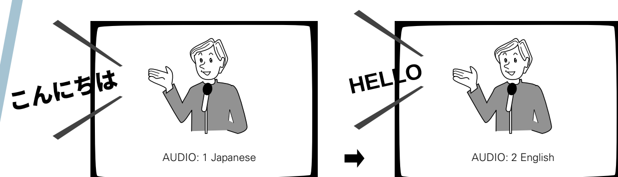
DVDには、ドルビーデジタルやPCMなどの音声がいろいろな言語で記録されています。お好みの音声言語を選んでお楽しみください。

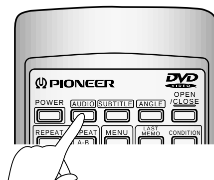
1. 再生中に AUDIO を押す



● 表示が点滅中に MENU を押すと、
ディスクのメニューを表示することができます。

2. AUDIO を押し、お好みの言語にする





ポイント

● タイトルによってはメニューを使って選択することもできます。この場合は表示が出ているときに MENU を押して、メニュー画面を出し、選択してください。

注意！

◆ 音声言語が１言語しか記録されていないときには音声言語が切り換わりません。

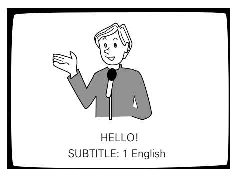
◆ タイトルによっては、音声言語が切り換えできないものがあります。この場合 マークが表示されます。
音声番号と言語の設定はディスクによって違いますので、ディスクの説明書をご覧ください。

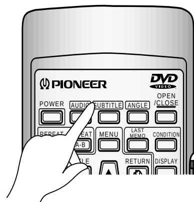


字幕言語を選ぶ（マルチ言語字幕）

複数の字幕言語が記録されたDVDでは、字幕言語を選ぶことができます。

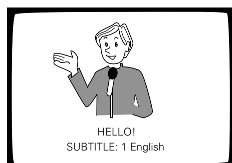
1. 再生中に SUBTITLE を押す





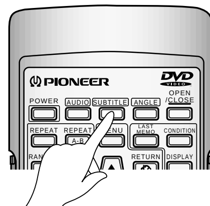
●現在再生中の字幕番号が表示されます。

2. SUBTITLE を押し、お好みの言語にする









注意！

◆字幕言語が記録されていない、または1つしか記録されていないときは字幕言語が切り替わりません。
◆タイトルによっては、字幕言語が切り換えできないものがあります。この場合 マークが表示されます。

ポイント

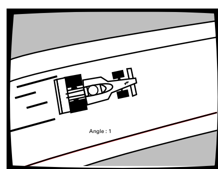
● 再生中に字幕言語を消したい場合には、SUBTITLE を押した後 CLEAR を押してください。また、サブタイトルメニューを表示しているときは、「OFF」を選択すると消すことができます。
● 初期設定メニューから言語設定にし、基本字幕の設定で「OFF」に設定しておくと字幕を消すことができます。（39、40ページ参照）
● タイトルによってはメニューを使って選択することもできます。この場合は表示が出ているときに MENU を押して、メニュー画面を出し、選択してください。



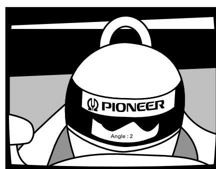
見たい方向からの映像を選ぶ（マルチアングル）

複数の方向（アングル）から映された映像が記録されたDVDで選ぶことができます。

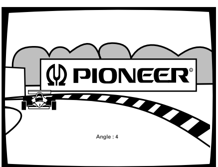
1. 再生中に ANGLE を押す



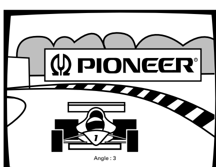












●さらに押すごとに切り換わります。



ディスクにアングルが記録されていることを知るには

ディスクのジャケットに マークが付いています。また本機では、アングルが記録されいてる箇所を再生すると、 マークを表示することができます。

アングルマーク表示したくないとき

1.停止中に MENU を押す
2.数字ボタンの 3 を押す。
・初期設定メニューになります。
3.数字ボタンの 1 を押す。
・画面表示メニューになります。
4. 数字ボタンの 4 を押す。
・アングルマークメニューになります。
5. 数字ボタンの 2 を押す。
メニューを設定を終了します。

注意！

◆ディスクによってはメニューが表示されない場合があります。
◆一時停止中は一時停止を解除します。

ポイント

● マルチアングル機能は、複数のアングルが記録されたディスクでなければ選択できません。
● マルチアングル部分を再生中は本体表示部のアングルインジケーターが点灯します。
● タイトルによってはメニューを使って選択することもできます。この場合は表示が出ているときに MENU を押して、メニュー画面を出し、選択してください。

ディスクの情報を見る

再生中に DISPLAY を押す

●押すごとに下記のようになります。

注意！
◆タイトルによっては、表示されないものもあります。
◆テレビ画面の焼き付き防止のため、約80分で自動的に表示は消えます。

DVD

タイトル番号 / チャプター番号 / タイトル内再生時間

1-1 0.04 PLAY → 1-1 0.04 PLAY CHAPTER TIME 0.04 CHAPTER REMAIN 2.26 → 1-1 0.04 PLAY TITLE REMAIN 2.26 TITLE TOTAL 1 5.30 → 1-1 0.04 PLAY SUBTITLE 2 Spanish AUDIO 1 English DOLBY DIGITAL 5.1CH → 1-1 0.04 PLAY TR• RATE: 8.3 → 消える

チャプタータイム：
チャプターの再生時間

チャプターリメイン：
再生中のチャプターの残り時間

タイトルリメイン：
再生中のタイトルの残り時間

タイトルトータル：
再生中のタイトルの総チャプター数と総再生時間

字幕：
表示する字幕の情報

音声：
出力する音声の情報

再生レート：
転送レートのレベルメーター

CD

トラック / 曲の再生時間

1 0.04 PLAY → 1 0.04 PLAY TRACK REMAIN 5.26 → 1 0.04 PLAY ALL REMAIN 25.26 TOTAL TIME 6 26.00 DIGITAL STEREO → 消える

トラックリメイン：
再生中の曲の残り時間

オールリメイン：
再生中のところからディスクの最後までの残り時間

トータルタイム：
ディスクの総トラック数と総再生時間

ビデオ CD

トラック / ディスクの始めからの再生時間

1 6.04 PLAY → 1 6.04 PLAY TRACK TIME 1.23 TRACK REMAIN 5.41 → 1 6.04 PLAY ALL REMAIN 19.56 TOTAL TIME 6 26.00 DIGITAL STEREO → 消える

トラックタイム：
再生中の曲再生時間

トラックリメイン：
再生中の曲の残り時間

オールリメイン：
再生中のところからディスクの最後までの残り時間

トータルタイム：
ディスクの総トラック数と総再生時間

注意！
◆ビデオCDのPBC再生時には再生時間等は表示されないことがあります。

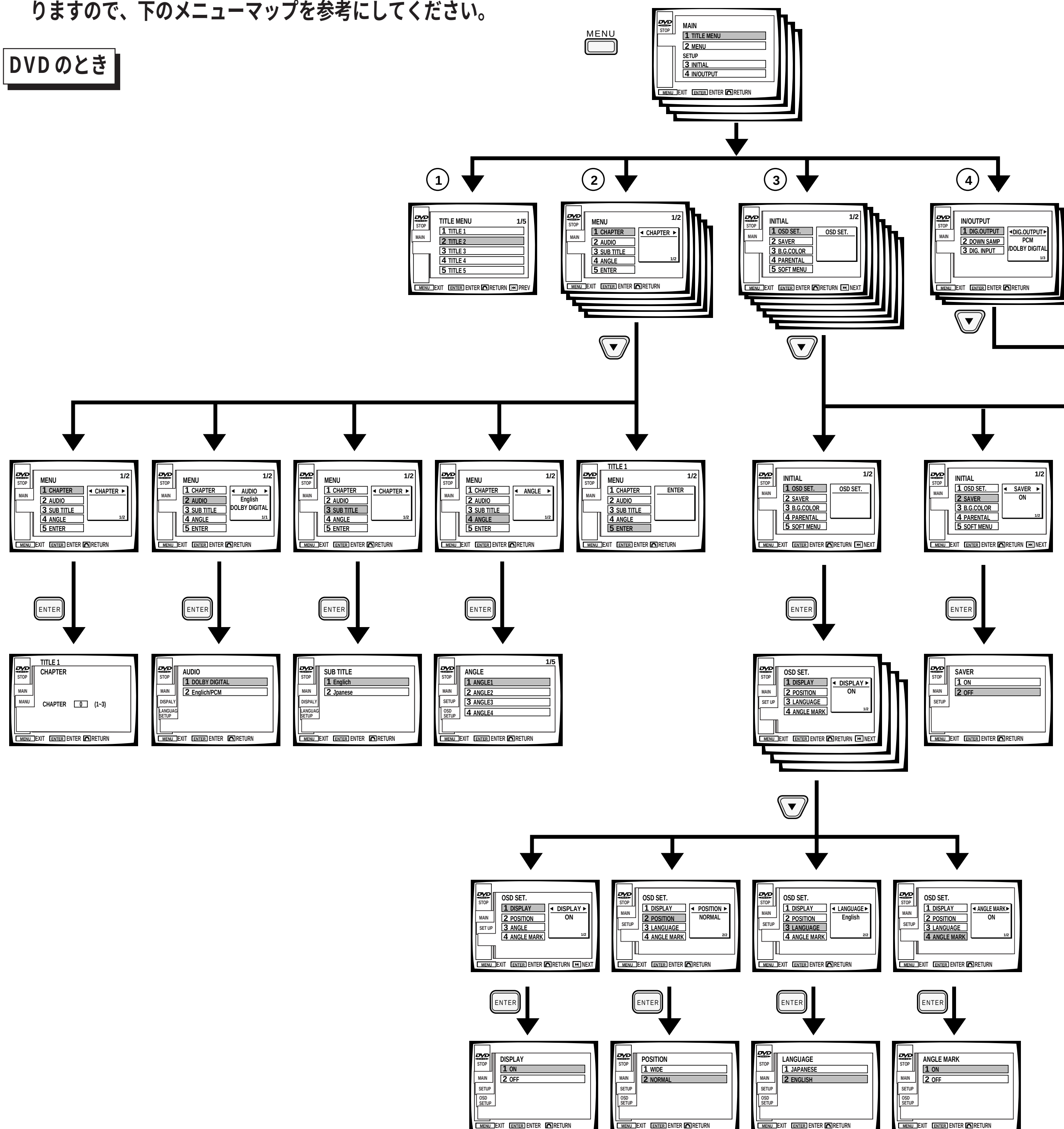
停止中に DISPLAY を押す

●ディスク情報が表示されます。

GUI操作の概要（グラフィカルユーザーインターフェース）

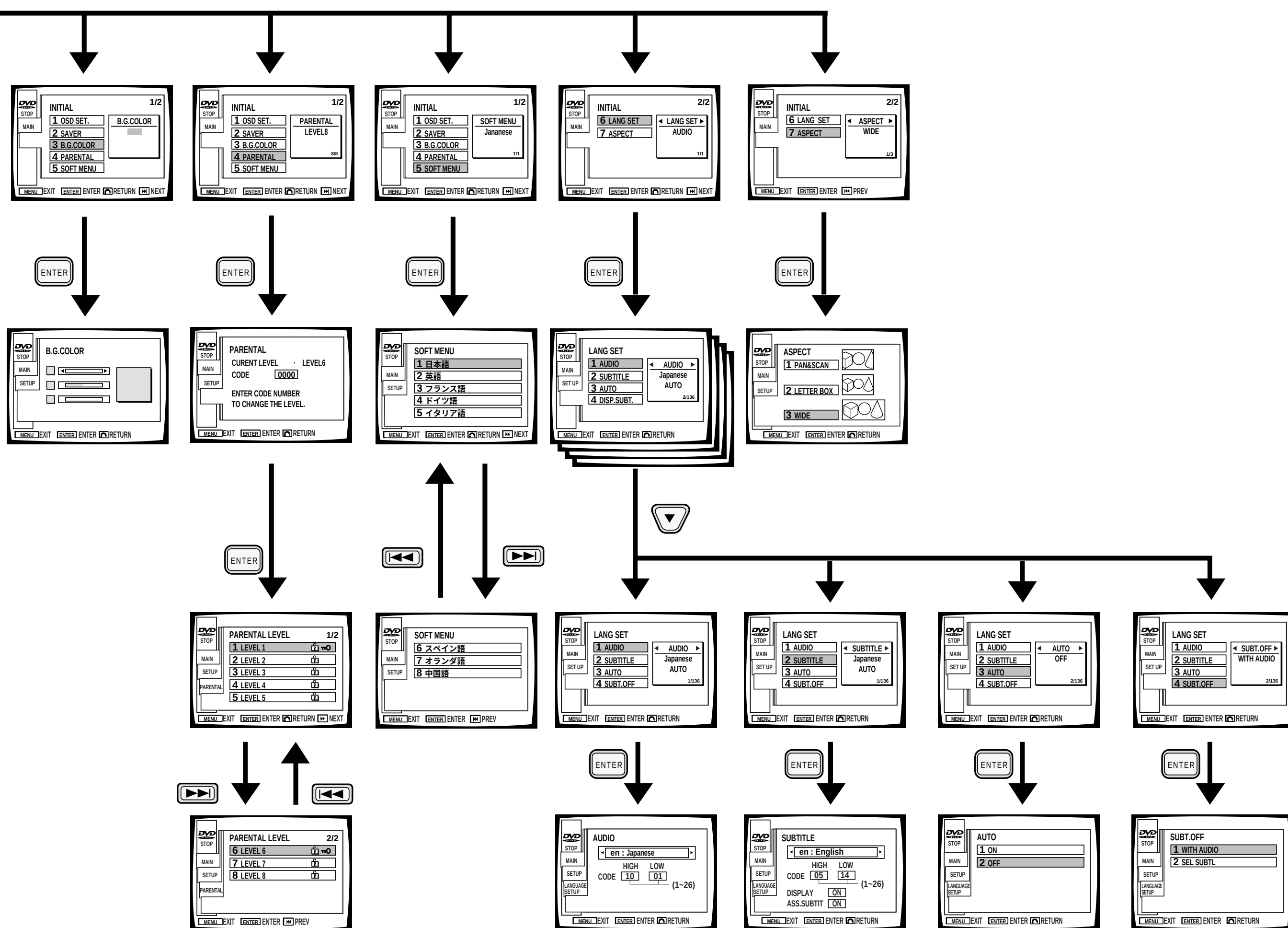
本機ではいろいろな設定を画面を見ながらリモコンで行います。
ここではメニュー画面への入り方を説明します。ディスクの種類や再生・停止などの状態によってメニュー画面への入り方が異なりますので、下のメニューマップを参考にしてください。

DVDのとき

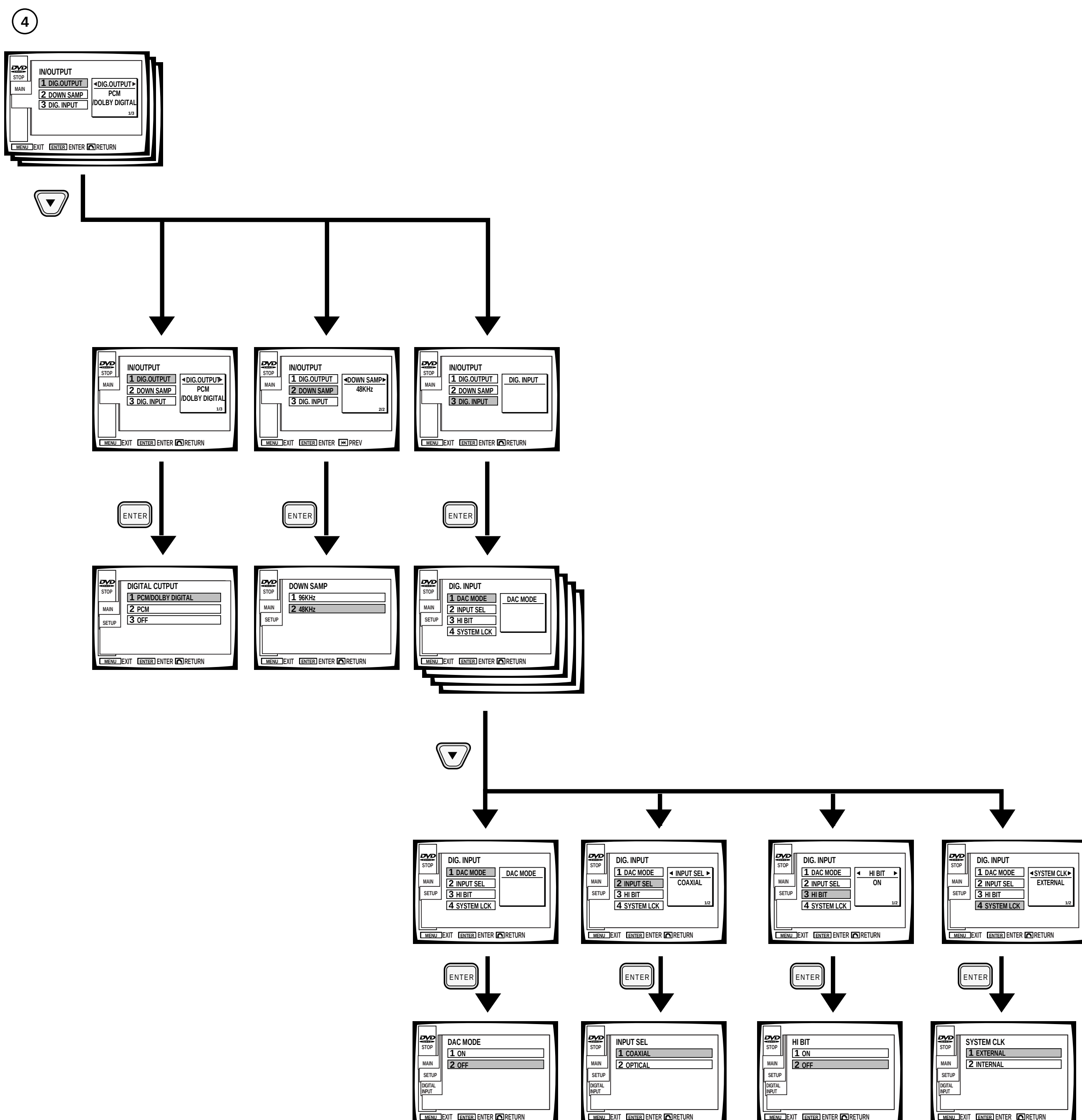


RETURN を押すと、ENTER を押した前の画面に戻ります。

次ページにつづく



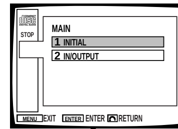
GUI 操作の概要（グラフィカルユーザーインターフェース）



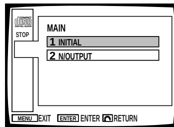
CD Video CD

CD、ビデオ CD のとき

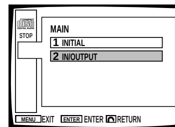


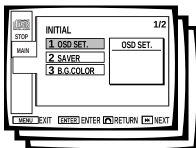


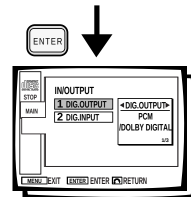
①

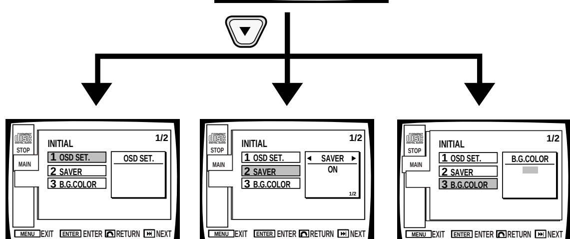


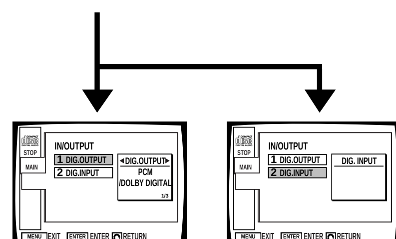
②

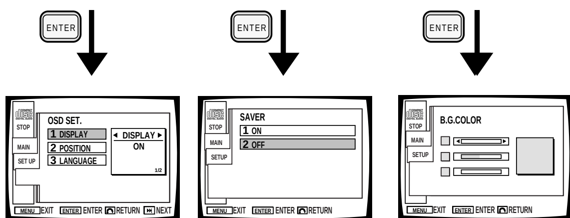


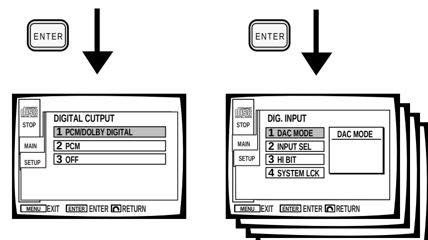


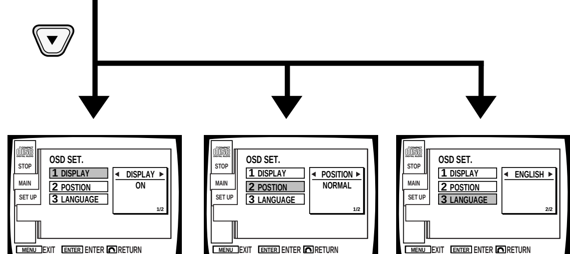


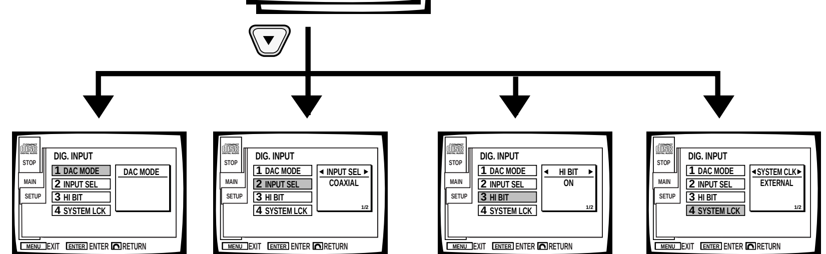


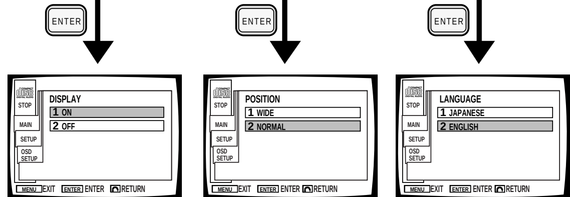


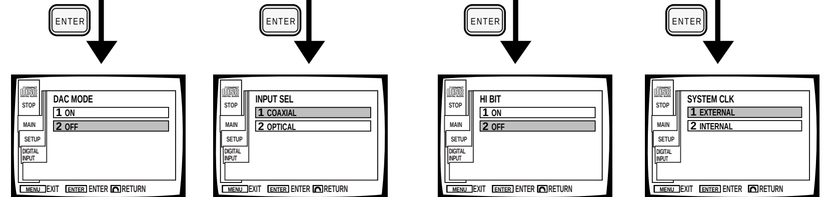






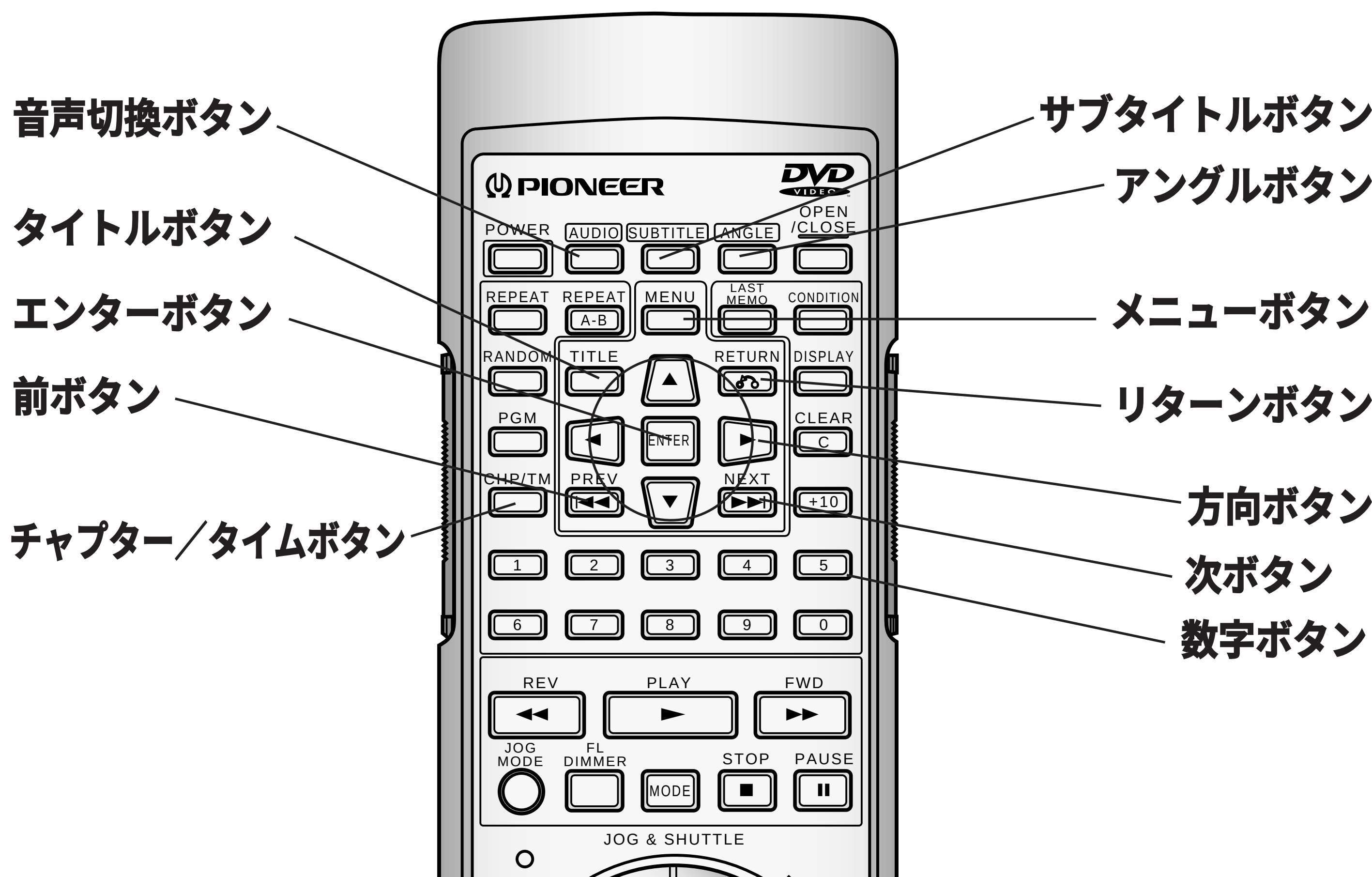






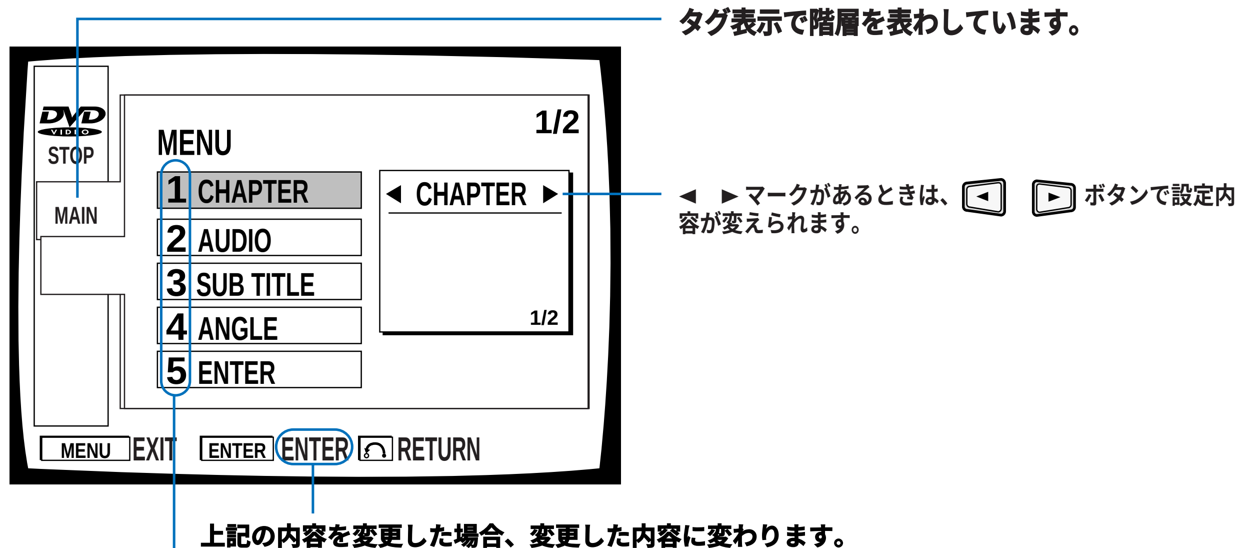
各メニュー内でのボタンの働き

ボタンの名称	ボタンのかたち	働き
メニューボタン	MENU	メニュー画面に入る メニュー画面からぬける（設定した内容は無効になります）
リターンボタン	RETURN	1つ前のメニュー画面へ戻る（設定した内容は決定になります） ただし、サーチは無効です。
数字ボタン	1 ～ 0 ・ +10	選択し決定する（セットアップメニュー内では項目によっては選択のみとして働く場合があります）
方向ボタン	▲ ▼ ◄ ►	選択
エンターボタン	ENTER	決定し実行する（タイトル、チャプターの変更後は再生状態になります）
前ボタン	PREV	前のページへ
次ボタン	NEXT	次のページへ
直接メニューを出すボタン	TITLE CHP/TM SUBTITLE ANGLE AUDIO	各メニューへ（移動前に設定した内容は無効になります）



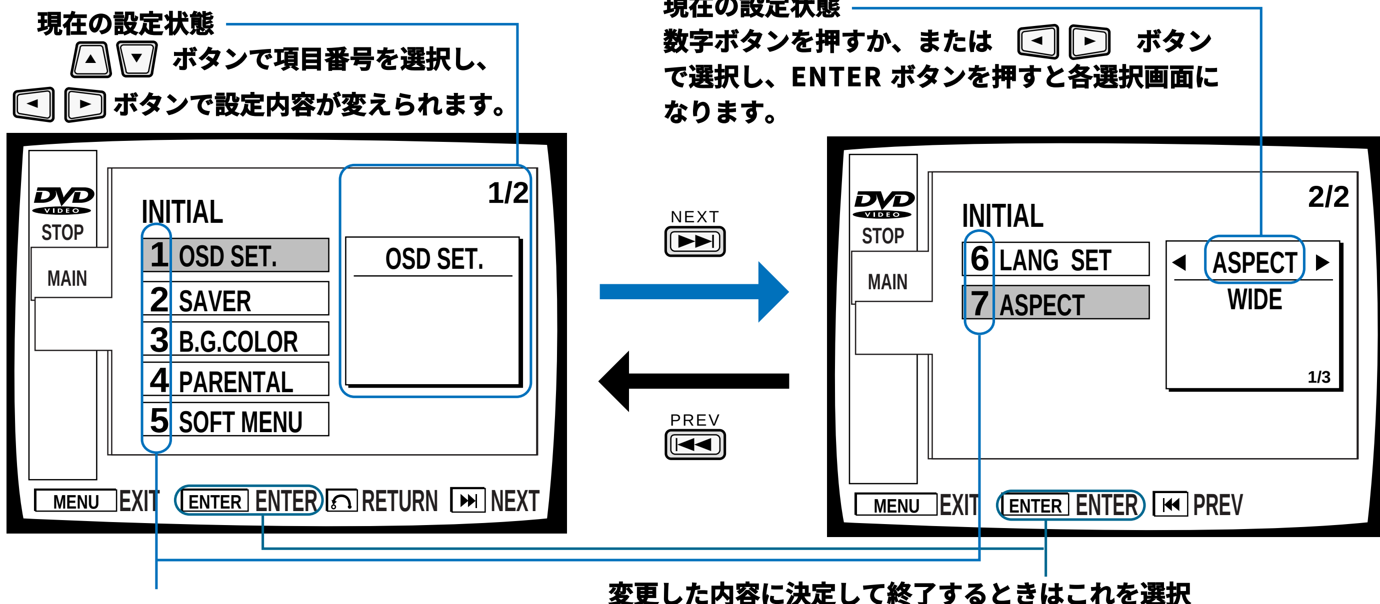
画面表示と操作の例

例1：メニュー内での表示内容・ボタンのはたらき



項目番号
数字ボタンまたは ▲▼ ボタンで選択し、ENTERボタンを押すと、各項目名の選択画面になります。ただし、「5 ENTER」は除く。

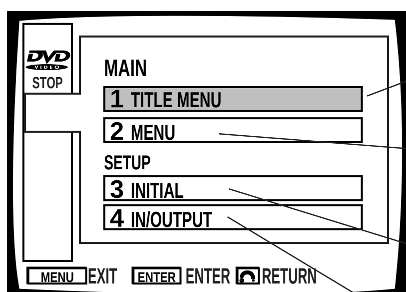
例2：セットアップメニュー内での表示内容・ボタンのはたらき



選択項目番号
数字ボタンで選択。「3 B.G.COLOR」、「4 PARENTAL」、「5 SOFT MENU」、「6 LANG SET」、「7 ASPECT」を選択すると、各選択画面になります。または ▲▼ ボタンで選択し、ENTERボタンを押すと設定した内容になります。
各項目の内容については、40、41ページをご覧ください。

メインメニューについて

タイトルメニュー画面、メニュー画面、セットアップ画面を選ぶときの主（メイン）画面です。



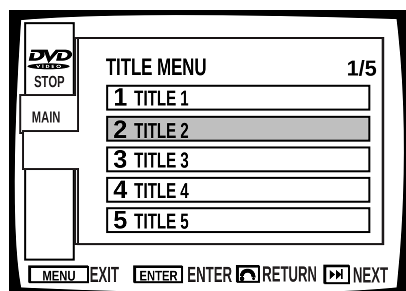
タイトルメニュー画面では：
タイトルを選んで再生することができます。（タイトルサーチ）

メニュー画面では：
タイトル中のチャプター（曲）、字幕、音声、アングルを選ぶことができます。（メニューの無いディスクでは選択できません。）

初期設定画面では：
本機の各種機能を画面表示で設定することができます。

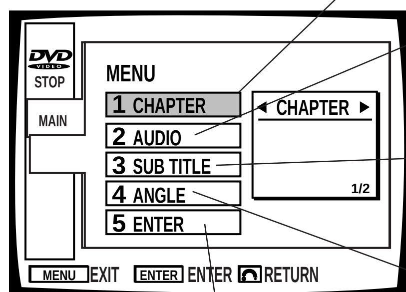
入／出力設定画面では：
本機のデジタル入／出力端子から入／出力する音声を選ぶことができます。

タイトルメニュー画面について



タイトルを選んで再生できます。
17ページの「メニューで探す」と同じ選択画面です。

メニュー画面の内容



チャプター画面では：
1つのタイトル中のチャプター（曲）を選んで再生することができます。

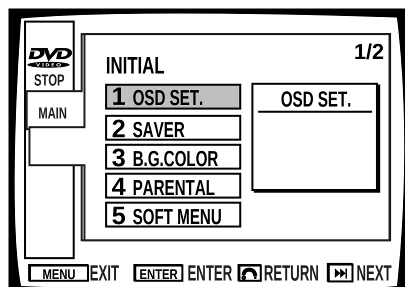
音声画面では：
複数の音声言語や音声の種類の入ったディスクでは、音声の内容を選ぶことができます。

字幕画面では：
字幕情報の入ったディスクでは、字幕の内容を選ぶことができます。

アングル画面では：
さまざまな方向から映された映像が記録されたディスクでは、その中からお好みのものを選ぶことができます。

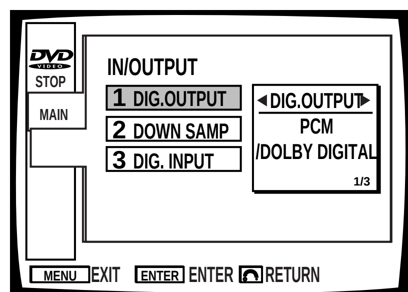
さまざまな設定を変更する

初期設定画面について



**さまざまな設定を変更するときに使用します。
次ページに、各項目と設定内容が書かれています。**

入／出力設定画面について



**本機から入／出力する音声を選ぶときに使用します。
使用するアンプに合わせて変更してください。**

詳しくは、次ページに各項目と設定内容が書かれています。

基本操作
応用操作
いろいろな設定
準備
その他

設定項目一覧表

階層		項目	内容	設定状態 初期設定（工場出荷時）	
(初期設定) INITIAL	(画面表示) OSD. SET	**DISPLAY (表示)**	動作表示（プレイ、ストップなど）をする（ON）しない（OFF）を切り換えます。	**ON** 動作表示する	**OFF** 動作表示しない
		POSITION (位置)	ワイドテレビで通常のソフトを見るときは、動作表示が画面の外にはみ出して、表示が見えなくなることがあります。表示位置を変更することでワイドテレビでも動作表示を見ることができるようになります。	**NORMAL** 通常のテレビ（4：3）を使用するとき	**WIDE** ワイドテレビを使用する場合 （メニュー画面は対応していません。）
		LANGUAGE (言語)	動作表示と各メニュー画面を日本語表示か英語表示に切り換える設定です。	**ENGLISH** 例）PLAY	**JAPANESE** 例）プレイ
		ANGLE MARK (アングルマーク)	アングルが記録された画面を再生すると を表示します。 アングルの画面を再生しているかどうかがはっきりします。	**ON** 表示	**OFF** 表示しない
		SAVER (スクリーンセーバー)	同じ静止画を長時間表示し続けると画面に焼きつき現象がでることがあります。本機ではメニュー画面など長時間（5分以上）表示し続けることによる画面の焼きつき現象を防止するため、スクリーンセイバー機能を搭載しています。「オン」にしておくことをおすすめします。	**ON** スクリーンセイバーが機能する	**OFF** スクリーンセイバーが機能しない
		B.G. COLOR (背景色)	メニュー画面や停止状態の画面の色を、お好みの色に設定できます。R（赤）、G（緑）、B（青）を個別に設定できます。それぞれ21段階の設定ができます	**黒**	**可変**
		PARENTAL (パレンタルレベル)	視聴制限のことをいいます。映像内容によって視聴制限をかける機能です。 本機はディスクに視聴制限コードが記録してあれば視聴制限（パレンタルロック）をかけることができます。パレンタルロック対応のディスクを再生したとき暴力シーン等で子供に見せたくない部分を飛ばして見ることができます。詳しくはディスクの説明書をお読みください。 一度暗証番号を設定すると、次回からは、その暗証番号を設定しないとレベルの変更はできません。 暗証番号は忘れないように控えておいてください。もし、忘れてしまったときは、初期状態に戻して再び設定できます。	**LEVEL8**	**LEVEL1～8** **可変**
		SOFT MENU (ソフトメニュー)	ディスクに入っているメニューの言語が何カ国語にも対応しているものでは、その中から選べます。	**JAPANESE**	**ディスクにより選択可**
	(言語設定) LANG SET	**AUDIO (基本音声)**	基本字幕と同じようにディスクに入っている多くの言語の音声のうち、通常はどの言語の音声にするか選んでおくことができます。再生中に音声言語を変えた場合でも、ディスクを交換したときは、この設定で選んだ言語になります。	**JAPANESE**	**136種類の言語から1つ選べます。（設定方法は42ページに書かれています。）**
		SUBTITLE (基本字幕)	ディスクに入っている字幕のうち、通常表示する字幕の言語を選んでおくことができます。再生中に字幕言語を変えた場合でも、ディスクを交換したときは、この設定で選んだ言語になります。	**JAPANESE**	**136種類の言語から1つ選べます。（設定方法は42ページに書かれています。）**
		AUTO (オート)	ON あらかじめ、基本音声、基本字幕を日本語に設定しておきます。 例えば、一般的な外国映画のディスクでは、オリジナル音声、日本語字幕が自動的に選択されます。 日本映画では、オリジナル音声（日本語）がされ字幕は出ません。 ディスクによっては、例のように動作しないことがあります。 基本音声、基本字幕が異なる OFF と同じになります。 ・再生途中で、「音声言語を選ぶ」（29ページ）、「字幕言語を選ぶ」（30ページ）で、変更することもできます。 OFF 基本字幕、基本音声の設定どおりになります。	**ON**	**OFF**
		SUBT.OFF (字幕オフ時)	字幕を非表示（OFF）にした時のディスクが強制的に表示する字幕を設定できます。 WITH AUDIO（音声連動）：選んだ音声の言語になります。 SEL SUBTL（選択字幕）：選んだ字幕の言語になります。	**SEL SUBTL**	**WITH AUDIO**
		ASPECT (アスペクト)	ワイドモードで記録されたソフトを見るときに、お使いのテレビに合わせて映像の縦横比を切り換えられます。	**WIDE**	**PAN & SCAN** **LETTER BOX**

設定を変更したものを購入時の設定に戻す（初期化）には…
電源が入っている場合は、一度電源を切ります。電源が切ってある状態で本体の ボタンを押しながら POWER STANDBY/ON ボタンを押します。

設定項目一覧表

階層		項目	内容	設定状態	
				初期設定（工場出荷時）	
入出力設定 IN/OUTPUT		**DIG. OUTPUT（デジタル出力）**	本機の光デジタル出力端子とデジタル出力［同軸］のPCM/□□から出力する音声を変更できます。DVDでは、ドルビーデジタル音声（映画館などで使用されている立体的な音声）とリニアPCM（CDでおなじみのデジタル音声）2通りの規格があります。	**PCM /DOLBY DIGITAL** 音声信号に対応し、リニアPCMかドルビーデジタルかを自動選択します。 ドルビーデジタル（AC-3）デコーダーを搭載したアンプを使用するとき	**PCM** ドルビーデジタルでもリニアPCMに対してでもリニアPCM規格で出力します。通常のアンプやドルビープロロジックアンプを使用するとき **OFF** 出力しないとき
入出力設定 IN/OUTPUT		**DOWN SAMP（ダウンサンプル）**	96kHz: サンプリング周波数が96kHzPCMオーディオディスクでは、96kHzの高音質で再生することができます。サンプリング周波数48kHzのディスクでは、そのまま48kHzでの再生になります。 48kHz: サンプリング周波数が96kHzのディスクでも、48kHzに圧縮して再生します。48kHzは、そのまま48kHzになります。 ●ディスクに記録されているオーディオサンプリング周波数をお好みに合わせて、アナログ出力／デジタル出力とも同時に切り換わります。 ●DVDフォーマット上、コピープロテクトのかかった96kHzのディスクが存在します。この場合、デジタル出力からは信号が出ません。	**96kHz**	**48kHz**
入出力設定 IN/OUTPUT	DIG. INPUT デジタル入力	**DAC MODE（DAC モード）**	CD、MD、DATなどのデジタル信号を本機に入力して、本機のD/Aコンバータからアナログ信号に変換するとき「オン」にします。	**OFF**	**ON** 画面に「DAC MODE ON」と表示する
入出力設定 IN/OUTPUT	DIG. INPUT デジタル入力	**INPUT SEL（入力端子）**	デジタル入力する端子を切り換えます。	**COAXIAL**	**OPTICAL**
入出力設定 IN/OUTPUT	DIG. INPUT デジタル入力	**HIBIT ハイビット**	16ビットのデジタル信号をハイビット化して、24ビットにした後、アナログ信号に変換する（オン）かそのままのデジタル信号をアナログ変換する（オフ）かを選びます。 ●この時、表示窓には、選択されている入力信号のビット数を表示します。	**ON**	**OFF**
入出力設定 IN/OUTPUT	DIG. INPUT デジタル入力	**SYSTEM CLK システムクロック**	デジタル信号のクロック周波数を外部同期で行うか、内部同期で行うかを選びます。 EXTERNAL （外部同期）：入力するデジタル信号のサンプリング周波数が44.1kHz、48kHz、96kHzでは、外部に同期させることにより原音により近いアナログ変換が行えます。 32kHzでは、外部同期を設定しても、内部同期になります。 INTERNAL （内部同期）：入力するデジタル信号を本機のクロック周波数でサンプリングします。	**EXTERNAL**	**INTERNAL**

基本操作

応用操作

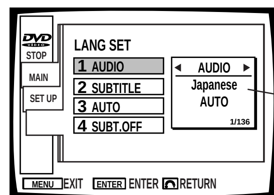
いろいろな設定

準備

その他

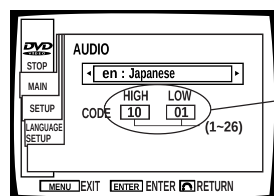
基本音声、基本字幕の設定のしかた

基本音声



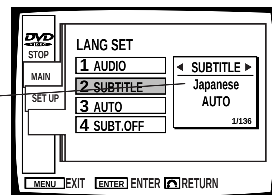
リモコンの ◀ または ▶ で順番に変わります。



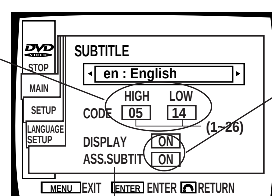


下記の言語コード表の入力コード（上位）、（下位）をご覧になり、設定する言語に該当する数字をリモコンの数字ボタン（10以上は＋10を使用）で設定します。

基本字幕







リモコンの ▼ または ▲ で表示を選び、◀ または ▶ で表示（オン）、表示しない（オフ）を選ぶことができます。

ディスクによっては、耳の不自由な方などのために場面の状況を解説した字幕が記録されているものがあります。「ASS.SUBTIT（アシスト字幕）」をONにするとこの字幕を優先して表示します。

言語コード表

言語	言語ｺｰﾄﾞ	入力ｺｰﾄﾞ（上位）	入力ｺｰﾄﾞ（下位）
Japanese	ja	10	01
English	en	05	14
French	fr	06	18
German	de	04	05
Italian	it	09	20
Spanish	es	05	19
Dutch	nl	14	12
Russian	ru	18	21
Chinese	zh	26	08
Korean	ko	11	15
Greek	el	05	12
Afar	aa	01	01
Abkhazian	ab	01	02
Afrikaans	af	01	06
Amharic	am	01	13
Arabic	ar	01	18
Assamese	as	01	19
Aymara	ay	01	25
Azerbaijani	az	01	26
Bashkir	ba	02	01
Belorussian	be	02	05

言語	言語ｺｰﾄﾞ	入力ｺｰﾄﾞ（上位）	入力ｺｰﾄﾞ（下位）
Bulgarian	bg	02	07
Bihari	bh	02	08
Bislama	bi	02	09
Bengali, Bangla	bn	02	14
Tibetan	bo	02	15
Bhutani	br	02	18
Breton	ca	03	01
Catalan	co	03	15
Corsican	cs	03	19
Czech	cy	03	25
Welsh	da	04	01
Danish	dz	04	26
Esperanto	eo	05	15
Estonian	et	05	20
Basque	eu	05	21
Persian	fa	06	01
Finnish	fi	06	09
Fiji	fj	06	10
Faroese	fo	06	15
Frisian	fy	06	25
Irish	ga	07	01

言語	言語コード	入力コード（上位）	入力コード（下位）
Scottish Gaelic	gd	07	04
Galician	gl	07	12
Guarani	gn	07	14
Gujarati	gu	07	21
Hausa	ha	08	01
Hindi	hi	08	09
Croatian	hr	08	18
Hungarian	hu	08	21
Armenian	hy	08	25
Interlingua	ia	09	01
Interlingue	ie	09	05
Inupiak	ik	09	11
Indonesian	in	09	14
Icelandic	is	09	19
Hebrew	iw	09	23
Yiddish	ji	10	09
Javanese	jw	10	23
Georgian	ka	11	01
Kazakh	kk	11	11
Greenlandic	kl	11	12
Cambodian	km	11	13
Kannada	kn	11	14
Kashmiri	ks	11	19
Kurdish	ku	11	21
Kirghiz	ky	11	25
Latin	la	12	01
Lingala	ln	12	14
Laotian	lo	12	15
Lithuanian	lt	12	20
Latvian, Lettish	lv	12	22
Malagasy	mg	13	07
Maori	mi	13	09
Macedonian	mk	13	11
Malayalam	ml	13	12
Mongolian	mn	13	14
Moldavian	mo	13	15
Marathi	mr	13	18
Malay	ms	13	19
Maltese	mt	13	20
Burmese	my	13	25
Nauru	na	14	01
Nepali	ne	14	05
Norwegian	no	14	15
Occitan	oc	15	03
(Afan) Oromo	om	15	13
Oriya	or	15	18
Panjabi	pa	16	01

言語	言語コード	入力コード（上位）	入力コード（下位）
Polish	pl	16	12
Pashto, Pushto	ps	16	19
Portuguese	pt	16	20
Quechua	qu	17	21
Rhaeto-Romance	rm	18	13
Kirundi	rn	18	14
Rumanian	ro	18	15
Kinyarwanda	rw	18	23
Sanskrit	sa	19	01
Sindhi	sd	19	04
Sango	sg	19	07
Serbo-Croatian	sh	19	08
Singhalese	si	19	09
Slovak	sk	19	11
Slovenian	sl	19	12
Samoan	sm	19	13
Shona	sn	19	14
Somali	so	19	15
Albanian	sq	19	17
Serbian	sr	19	18
Siswati	ss	19	19
Sesotho	st	19	20
Sundanese	su	19	21
Swedish	sv	19	22
Swahili	sw	19	23
Tamil	ta	20	01
Telugu	te	20	05
Tajik	tg	20	07
Thai	th	20	08
Tigrinya	ti	20	09
Turkmen	tk	20	11
Tagalog	tl	20	12
Setswana	tn	20	14
Tongan	to	20	15
Turkish	tr	20	18
Tsonga	ts	20	19
Tatar	tt	20	20
Twi	tw	20	23
Ukrainian	uk	21	11
Urdu	ur	21	18
Uzbek	uz	21	26
Vietnamese	vi	22	09
Volapük	vo	22	15
Wolof	wo	23	15
Xhosa	xh	24	08
Yoruba	yo	25	15
Zulu	zu	26	21

準備

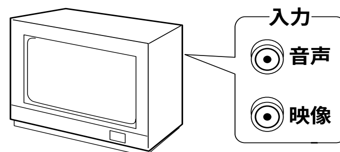
その他

接続のしかた

本機の接続に関する注意

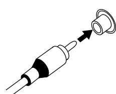
本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。本機をVTRを通してテレビに接続したりVTRで録画や再生をすると、正常な再生画像が得られない場合があります。テレビに本機を接続するかAVアンプを通して接続してください。

お手持ちのテレビに合わせて下記より選んでください。

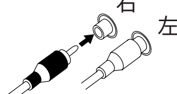
接続例 1 **映像入力のあるテレビ**		テレビに映像入力があり、この端子が空いていれば、この接続方法がもっとも簡単です。

- ●端子の色（白、赤、黄）とプラグの色を合わせて接続します。
- ●S映像入力のテレビへは、本機のS映像出力を接続してください。
- ●接続するテレビ（モニターテレビ）の取扱説明書も合わせてご覧ください。

映像出力

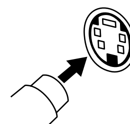


音声出力

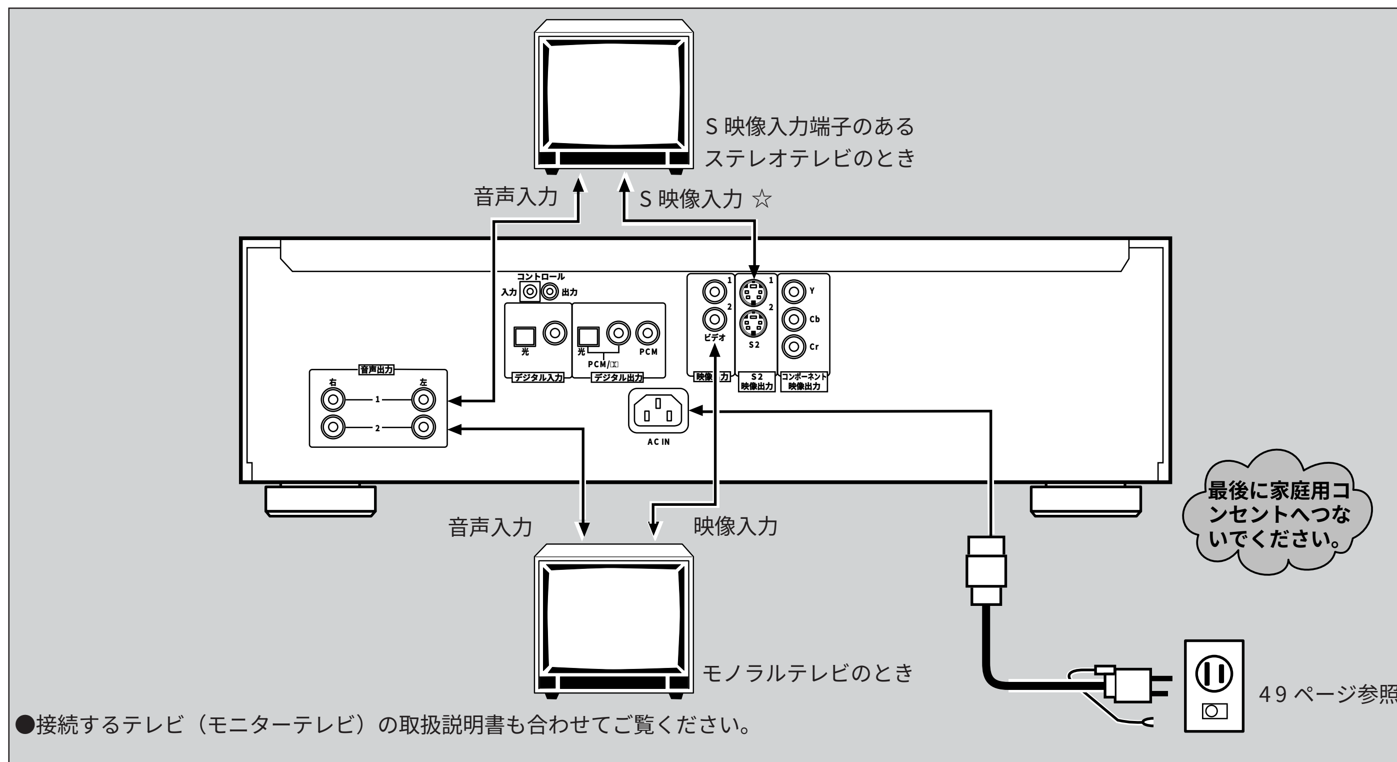


● 端子の色（白、赤、黄）とプラグの色を合わせて接続します。

S映像出力



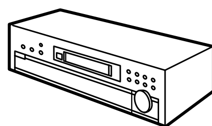
●映像入力のテレビへは、本機のS映像出力を接続してください。



●接続するテレビ（モニターテレビ）の取扱説明書も合わせてご覧ください。

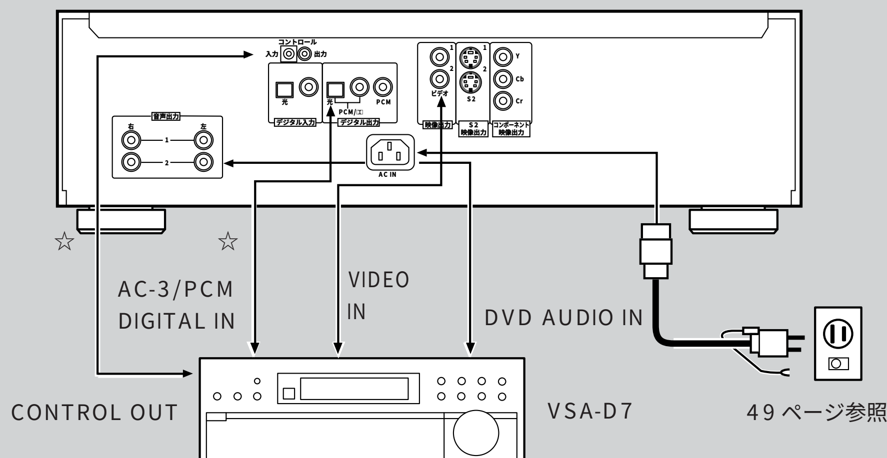
注意！

☆のケーブルは市販のケーブルをご利用ください。

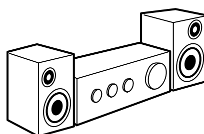
接続例 2 **ドルビーデジタル（AC-3）用のデジタル入力がファンクションに入力できる AV アンプ**		ドルビーデジタル（AC-3）入力のあるアンプに接続する場合です。

＊ 当社の AV デジタルサラウンドアンプ VSA-D7 や VSA-D9TX（平成 10 年 2 月発売予定）と組合わせる時はこの接続を行ってください。

● 本機のデジタル出力PCM/ ◻◻ 端子とドルビーデジタル対応アンプのドルビーデジタル（AC-3）入力端子へ接続します。同軸デジタル接続または光デジタル接続どちらか一方でかまいません。

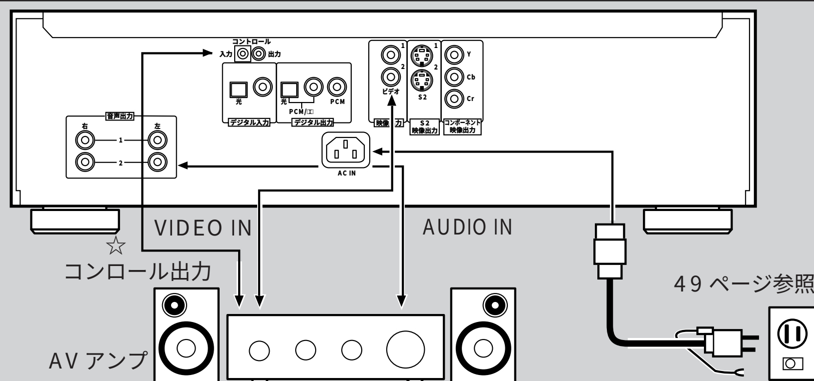


注意！
☆のケーブルは市販のケーブルをご利用ください。

接続例 3 **AV アンプ**		通常の AV アンプやステレオアンプに接続すると、ディスクの音量をより良い音質で再生することができます。

●本機の音声出力端子とアンプの CD、LD、AUX などの音声入力端子を接続します。（PHONO 端子には接続しないでください）

●本機の映像出力端子とアンプの映像入力端子を接続します。



●パイオニアの SR マーク付きの機器と接続する場合は

市販のミニプラグ付きケーブル（抵抗なし）を使って、本機のコントロール 入力端子と SR マーク付きの機器のコントロール出力端子を接続すると、システムとして本機もコントロールできます。

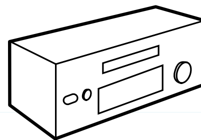
●システムコントロール接続をすると、本機に向けてリモコンで直接操作することはできません。

●システムとしてコントロールする場合は、**デジタル機器しか使用しない場合でも、必ずアンプとオーディオケーブルで接続してください。**

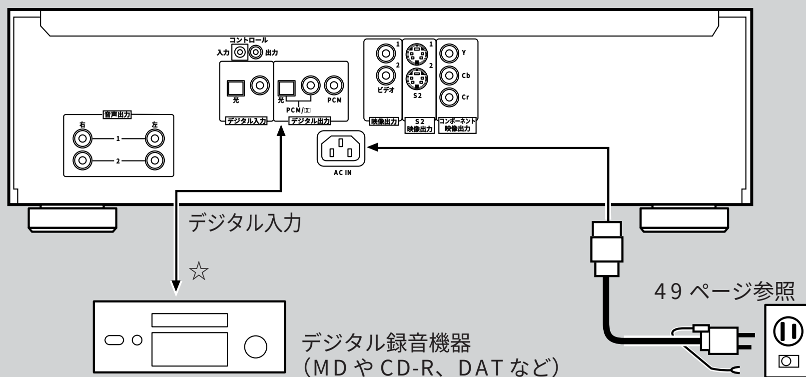
●ドルビープロロジックデコーダを搭載したアンプでは、サラウンドを楽しむことができます。

●詳しくは接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

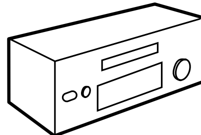
注意！
☆のケーブルは市販のケーブルをご用意ください。

接続例 4 **デジタル録音機器**		MD や CD-R、DAT などの録音機器を接続することができます。

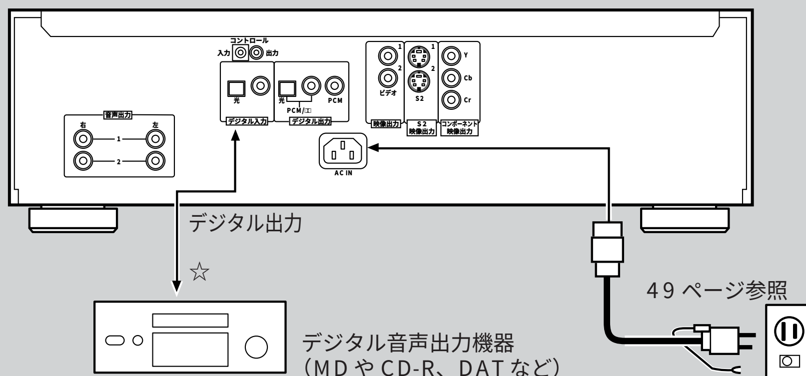
光デジタル接続またはデジタル出力（コアキシャル）のどちらか一方の接続をします。
●光デジタルの場合は、光デジタル入力端子と出力端子を接続します。
●コアキシャルデジタルの場合は、デジタル入力端子と出力端子を接続します。



注意！
ドルビーデジタル対応のDVDを録音するときは、「デジタル出力」（39ページ）PCMに設定してください。DVDがドルビーデジタル（AC-3）で記録されている場合は、PCM/DOLBY DIGITALのままでは、ノイズを録音してしまいます。
☆のケーブルは市販のケーブルをご利用ください。

接続例 5 **デジタル音声出力機器**		本機の D/A コンバータを使って、MD や CD、DAT などの外部からのデジタル信号をアナログ信号に変換するための接続です。

光デジタル接続またはデジタル入力（コアキシャル）の接続をします。外部デジタル音声機器使用時はメニューでDACモードに設定します。設定方法は 32〜41 ページをご覧ください。
●光デジタルの場合は、光デジタル出力端子と入力端子を接続します。
●コアキシャルデジタルの場合は、デジタル出力端子と入力端子を接続します。



● DAC モードを中止するには

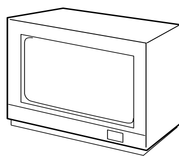
前面の ■/⏏ または ▶/II ボタンを押します。
リモコンでは、STOP■ 、PLAY► または OPEN/CLOSE のいずれかのボタンを押します。

●再度 DAC モードにするには

メニュー画面で設定してください。（34、39、41ページ参照）

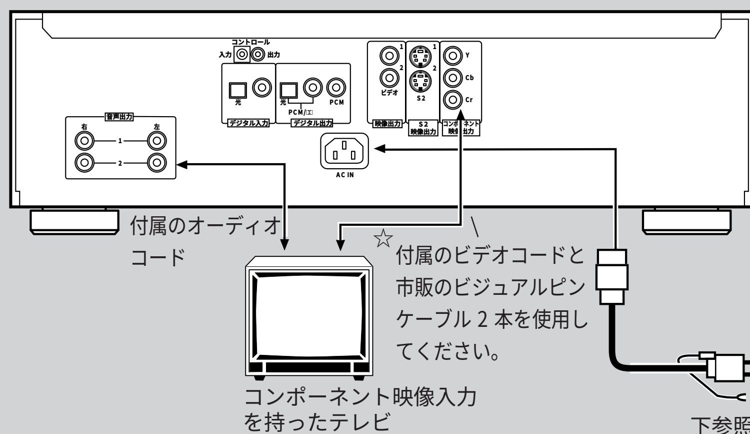
注意！
◆ 電源をオフにすると、DAC モードは OFF になります。再び電源を入れたとき、DAC モードにするには、メニュー画面で設定してください。
◆ CD-ROM などのデジタルデータを入力すると、ノイズを出力してしまいます。また、DVD 等のドルビーデジタル（AC-3）が入力された場合もノイズを出力します。PCM のみの出力に設定可能な機器では、PCM のみの出力にしてください。

接続例 6
色差入力端子を持ったテレビ



コンポーネント映像入力を持ったテレビを使うとより良い映像でお楽しみいただけます。

●映像入力として、色差入力を持っているテレビと組合せて使用できます。
　より高画質な再生が楽しめます。
●色差入力端子の名称はテレビによって異なります。
●画像の色が濃くなったり、色相がかわったりしたときはテレビ側で調整してください。

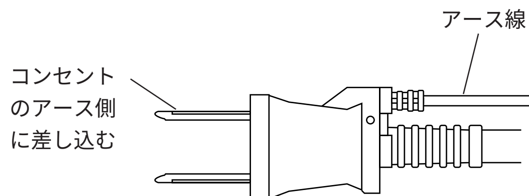


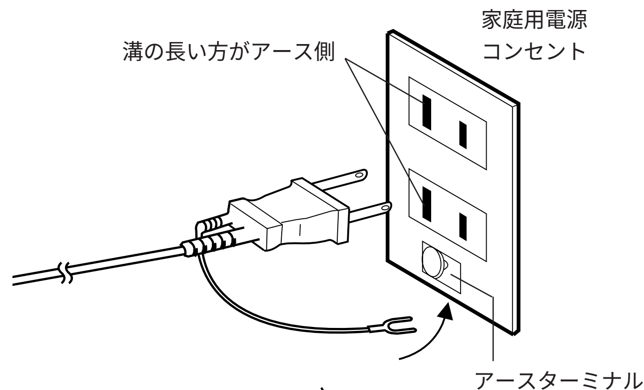
最後に家庭用コンセントへつないでください。

注意！
☆のケーブルは市販のケーブルをご用意ください。

付属の電源コードのつなぎ方

家庭用コンセントの交流電源には極性があり、アース側が大地につながれています。
本機では、この極性を音質向上のために利用しています。しかし、音質が変わらないこともあります。





■ アース線の接続

アース線を接続する場合は電源コードのテープ止めからアース線を外し、図の様にコンセントにある専用のアースターミナルにしっかりと接続してください。

⚠ 注意

アース線を使用しない場合は、電源コードのテープ止めから外さないでください。一度外した場合も、使用しないときは再度テープで電源コードに初期状態と同様に止めてください。アース金具がコンセントに入り込むと、感電する恐れがあります。

基本操作
応用操作
いろいろな設定
準備
その他

各部の名称

■リモコン

サブタイトルボタン（SUBTITLE） P.30
音声切換ボタン（AUDIO） P.29
電源ボタン（POWER） P.10
２点間繰り返しボタン（REPEAT A-B） P.20
繰り返しボタン（REPEAT） P.20
タイトルボタン（TITLE） P.16 P.17
ランダムボタン（RANDOM） P.22
プログラムボタン（PGM） P.19
チャプター／タイムボタン（CHP／TE） P.18
数字ボタン（1〜9，0，+10）
再生ボタン（PLAY►） P.10
早戻しボタン（REV◄◄） P.11
表示部消灯ボタン（FL DIMMER） P.52
ジョグモードボタン（JOG MODE） P.21
ジョグダイアル P.21

メニューボタン（MENU） P.16 P.17 P.18 P.24
アングルボタン（ANGLE） P.30
つづき再生ボタン（LAST MEMO） P.13
開 / 閉ボタン（OPEN/CLOSE ▲） P.10 P.12
コンディションボタン（CONDITION） P.28
リターンボタン（RETURN） P.16
画面表示ボタン（DISPLAY） P.31
クリアーボタン（CLEAR） P.19 P.20 P.22

メニュー操作ボタン	P.36
方向ボタン（◄・►・▲・▼）	P.37
エンターボタン（ENTER）	
前ボタン（PREV ⏮）	
次ボタン（NEXT ⏭）	

早送りボタン（FWD►►） P.11
一時停止ボタン（PAUSE❚❚） P.21
停止ボタン（STOP■） P.12
モードボタン（MODE） P.26
シャトルリング P.11

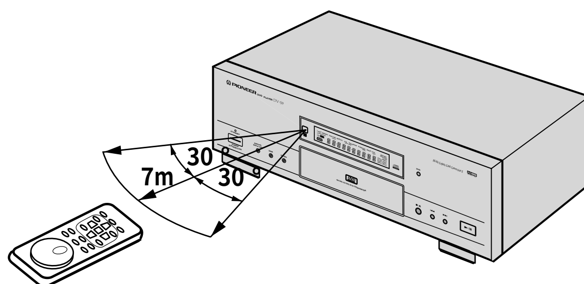
POWER　AUDIO　SUBTITLE　ANGLE　OPEN/CLOSE
REPEAT　REPEAT A-B　MENU　LAST MEMO　CONDITION
RANDOM　TITLE　RETURN　DISPLAY
PGM　ENTER　CLEAR
CHP/TM　PREV　NEXT　+10
1　2　3　4　5
6　7　8　9　0
REV　PLAY　FWD
JOG MODE　FL DIMMER　MODE　STOP　PAUSE
JOG & SHUTTLE
REV　FWD
CU-DV011

リモコンの操作

リモコンはプレーヤー本体前面部のリモコン受光部に向けて操作します。プレーヤーからリモコンの距離は７m以内、またリモコン受光部を基準にして上下左右30°までの範囲で操作できます。

●リモコン受光部に直射日光や蛍光灯などの強い光が当たると、誤動作することがあります。

●後面のコントロール入力端子が他の機器に接続されている場合は、その機器のリモコン受光部に向けて操作してください。本機に向けては操作できません。（47ページ参照）



■前面部

ディスクイルミネーション
DVD 以外のディスクを再生すると、消灯します。

再生／一時停止 [►/II] ボタン P.10

リモコン受光部 P.50

ディスクテーブルドア P.10

スタンバイインジケーター P.10
（STANDBY）

電源スイッチ
（POWER）
P.10

表示部消灯インジケーター
（FL OFF） P.10

表示部 P.52

停止 [■] ボタン P.12 /
開／閉 [▲] ボタン
P.10

送り [►►I] P.11

戻し [I◄◄]
P.11

コンポーネントフレーム
DNR インジケーター

デジタル出力インジケーター

■後面部

デジタル出力端子〔同軸〕
CD、ビデオ CD のデジタル音声をデジタル出力します。デジタル出力端子は組み合わせる機器により、ノイズを発生する場合があります。
ドルビーデジタル（AC-3）対応の機器と接続する場合はPCM/ DD 端子と接続してください。（右表参照）

お手持ちのアンプ			
	通常のAVアンプ	同軸	同軸端子を接続し、メニューでPCMに設定してください。
		光	光出力を接続し、メニューでPCMに設定してください。
	ドルビーデジタル（AC-3）対応アンプ	同軸	PCM/DD 端子を接続し、メニューでPCM/DOLBY DIGITALに設定してください。
		光	光出力を接続し、メニューでPCM/DOLBY DIGITALに設定してください。

デジタル出力端子［光］
音声を光デジタル出力します。
PCM/DOLBY DIGITAL と PCM 専用に切り換えられます。

コントロール入／出力端子

デジタル入力端子
本機へデジタル信号を入力すると、本機の D/A コンバータを利用して、音声出力端子から、アナログ信号が出力されます。
利用方法としては、CD や MD とデジタル接続して、音声が聞けます。

コンポーネント映像出力端子

電源コード接続端子

音声出力端子
1と2があり、2系統同時接続できます。たとえば、1をテレビに接続し、2を AV アンプに接続することができます。

S2 映像出力端子

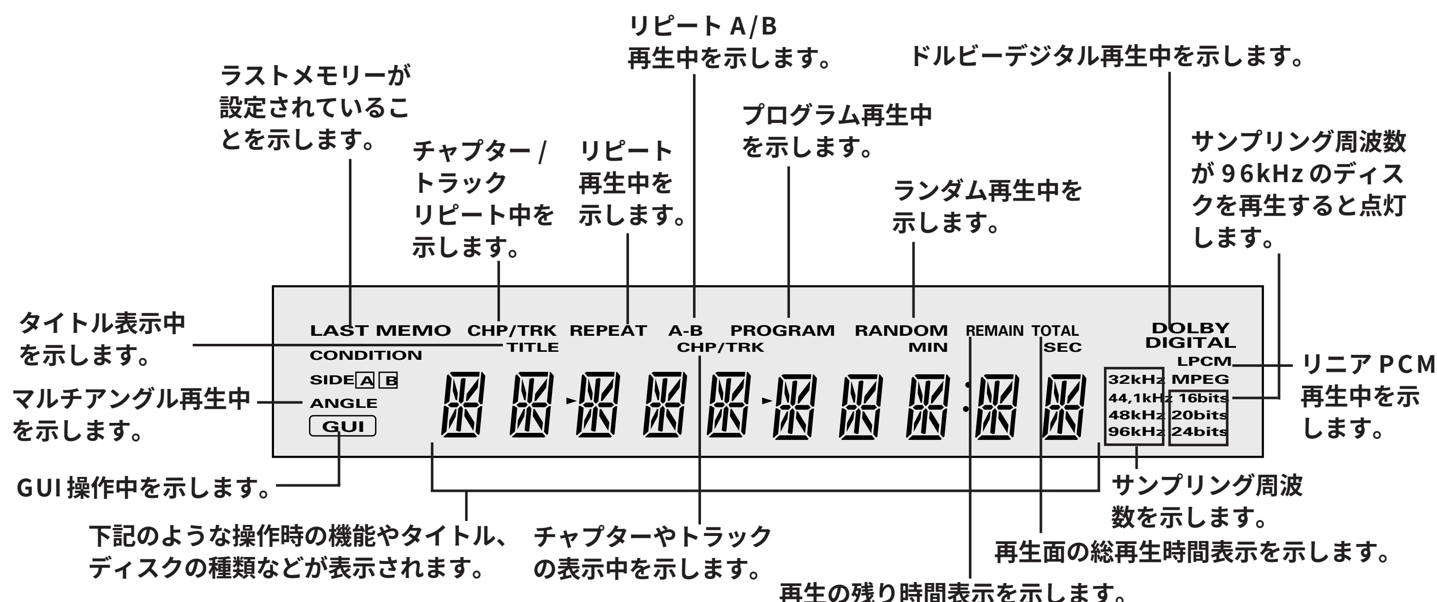
映像出力端子

基本操作
応用操作
いろいろな設定
準備
その他

■表示窓

リモコンの FL DIMMER ボタンを押すと、次のように表示窓の明るさが変わります。

明るい → 少し暗い → 暗い → 消灯



代表表示例

CD: コンパクトディスク

DVD: DVD

VCD: ビデオ CD

PBC PLAY: プレイバックコントロール再生中

OPEN: ディスクテーブルを開く準備中

CLOSE: ディスクテーブルを閉じる動作中

PLAY: 再生開始

STOP: 再生停止

-- OFF -- ：電源が切れる

MENU: メニュー状態

TITLE: タイトルメニュー時

SETUP: セットアップメニュー時

COND_MEM: コンディションメモリー

LAST_MEM: ラストメモリー

正しく、末永くお使いいただくために

■再生中は本機を絶対に動かさない

再生中はディスクが高速回転しているので、本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。ディスクを傷つける恐れがあります。

■本機を移動する場合

本機を移動したり、引っ越しなどで梱包する場合は、必ずディスクを取り出し、OPEN/CLOSE ▲ボタンを押して、ディスクテーブルを閉じてから、電源ボタンを押して、表示窓の「-OFF-」が消えスタンバイインジケータが点灯してから電源コードを抜いてください。ディスクを内部に入れたまま移動すると故障の原因になります。

■設置する場所

- ●組み合わせて使用するテレビやステレオシステムのそばの安定した場所を選んでください。
- ●テレビやカラーモニターの上に本機を設置しないでください。カセットデッキなど、磁気の影響を受けやすい機器とは離して設置してください。

■次のような場所は避けてください

- ●直射日光のあたる所
- ●湿気の多い所や風通しの悪い場所
- ●極端に暑い所や寒い所
- ●振動のある所
- ●ほこりの多い所
- ●油煙、蒸気、熱などがあたる所（台所など）

■上に物をのせない

本機の上にものをのせないでください。

■通気孔をふさがない

毛足の長い敷物やベッド、ソファーの上などで使用したり、本機を布などでくるんで使用しないでください。放熱を妨げ、故障の原因となります。

■熱を受けないように

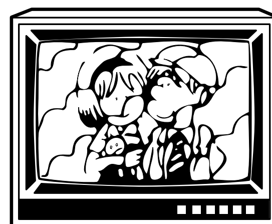
アンプなど、熱を発生する機器の上にのせないでください。ラックに入れる場合はアンプや他のオーディオ機器から出る熱をさけるため、アンプよりできるだけ下の棚（ホコリをかぶらない程度）に入れてください。

■ガラスドア付きラックに入れたときのご注意

ガラスドアを閉めたままリモコンのOPEN/CLOSE ▲ボタンを押して、ディスクテーブルを開けないでください。強い力でディスクテーブルの動きが妨げられると、故障の原因になります。

■本機を使わないときは電源を切っておく

テレビ放送やラジオ放送等の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビやラジオをつけると画面にしま模様が出たり、雑音が出る場合がありますが、本機やテレビ、ラジオの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。



製品のお手入れについて

通常は、柔らかい布で空拭きしてください。汚れがひどい場合は水で 5〜6 倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞った後、汚れを拭きとり、その後乾いた布で拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

故障？ちょっと調べてください

故障かな？と思ったらチェックしてみてください。ちょっとした操作ミスが故障と思われがちです。また、本機以外の原因も考えられます。ご使用のテレビやステレオコンポーネント、および同時に使用している電気器具も合わせてお調べください。下記の項目をチェックしても直らない場合は、お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

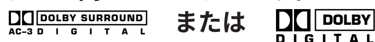
	症　状	考えられる原因	参照ページ
操作	1. ディスクテーブルを閉めても出てきてしまう。	●ディスクが極端に汚れている。	7 ページ
		●ディスクがディスクテーブルに正しくセットされていない。	10 ページ
		●リージョン NO. が一致していない。	56 ページ
		●本機の内部が結露している。	
	2. 再生できない	●PAL方式やSECAM方式のディスクでは再生できません。	8 ページ
	3. DVD 再生中に画像が乱れる	●本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。 ディスクによってはコピー禁止信号が入っているものがあり、そのようなディスクを再生した場合、テレビによっては一部画像に横縞が入る等の症状が出るものもありますが、故障ではありません。	46 ページ
	4. DVD 映像をＶＴＲに録画したり、VTRを通して再生すると再生画像が乱れる	●本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。 ディスクによってはコピー禁止信号が入っているものがあり、そのようなディスクを VTR を通して再生したり、VTR に録画して再生するとコピーガードシステムにより正常に再生されません。	46 ページ
	5. マークが画面に出る	●ディスク自体が禁止している操作です。	
	6. 画面が止まり、操作ボタンを受け付けない。	●一度停止（■ボタンを押す）してから、もう一度再生してください。	
リモート コントロール	7. リモコンで操作できない。	●背面パネルのコントロール入力端子と接続している。	47 ページ
		●本機と離れすぎている。または、リモコン受光部との角度がありすぎる。	
		●リモコンの電池が消耗している。	6 ページ
	8. テレビなどが誤動作する。	●ワイヤレスリモコン機能を持つテレビの一部には、本機のリモコン操作により誤動作するものがある。	
音声	9. 音が出ない。音が歪む。	●デジタル出力の設定が 96kHz に設定されている。ディスクによっては、デジタル出力を禁止しているものがあります。	
		●接続プラグの差し込みかたが不十分、または外れている。	46 ページ
		●接続プラグや端子が汚れている。	
		●音声ケーブルの接続が間違っている。	
		●ステレオアンプのPHONO入力端子と接続している。	
		●再生一時停止になっている。	
		●ステレオアンプの操作が間違っている。 （とくに、入力の選択が正しくされているか（CD、AUX 等）確認してください。）	
	10. DVD と CD で音量差を感じる。	●DVD と CD で音量差を感じることがありますが、これはディスクの記録方式の違いによるものです。	

ご注意：
静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しない場合があります。このようなときは、電源コードを一度抜いて再度差し込むことにより正常に動作します。

用語

ドルビーデジタル (AC-3) *

ドルビーデジタル（AC-3）は、最大 5.1 チャンネルの独立したマルチチャンネルオーディオを提供します。このシステムは、映画館にサラウンドシステムとして装備されているドルビーデジタルと同一のシステムです。



ドルビーデジタル (AC-3) ディスクを楽しむには、本機のデジタル出力 PCM/ドルビーデジタル端子（同軸または光どちらでも可）をアンプやプロセッサーのデジタル入力AC-3/PCM端子へ接続することが必要です。

PCM

Pulse Code Modulationの略でデジタル音声のことをいいます。CD やビデオ CD、DVD のデジタル音声が PCM です。

タイトルナンバー

映画などでいうタイトルのことです。DVD は大容量なので、1 枚のディスクに複数の映画を記録することができます。たとえば、異なる 3 つの映画が記録されていますと、タイトル 1、タイトル 2、タイトル 3 に分けられます。タイトルナンバーを選んで再生する操作ができます。

チャプターナンバー

ディスクのタイトル内をいくつかのセクションで区切り、番号付けしたナンバーです。本の“章”番号に相当します。このチャプターナンバーが記録されていれば希望のセクションを素早く見つけるチャプターサーチなどの操作ができます。

タイムナンバー

ディスクのタイトル内の最初からの再生経過時間です。希望のシーンをタイムナンバーで探すタイムナンバーサーチなどの操作ができます。

TOC

音声信号以外の TOC（Table（テーブル） Of（オブ） Contents（コンテンツ））という情報がディスクの始めの部分に記録されています。その名のように、本の目次に相当し、曲数や演奏時間の情報が入っています。

ビデオ CD

MD と同等の音質と VHS 並みの画質で動画再生が楽しめるディスクです。デジタル信号の圧縮技術（MPEG1 方式）により最大 74 分のデジタル画像と音声が連続再生できます。ビデオ CD にはメニュー画面で見たい場面を選んだり、静止画を再生できる“プレイバックコントロール（PBC）”対応のディスクがあります。

プレイバックコントロール (PBC)

ビデオ CD（バージョン 2.0）に記録されている、再生をコントロールするための信号です。
PBC 付きビデオ CD に記録されているメニュー画面を使って簡単な対話形式のソフトや検索機能のあるソフトの再生が楽しめます。
また高精細／標準の静止画も楽しむことができます。

高精細静止画

ビデオ CD の中に高精細な静止画が入っている場合は、動画の 4 倍の解像度で静止画を楽しむことができます。

---

* ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
ドルビー、DOLBY、AC-3、及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

マルチアングル

通常のテレビ番組などはテレビカメラからの映像を見ていますので、画像は撮影しているカメラの位置の視点でテレビ画面に表示されます。テレビスタジオなどでは数台のカメラで同時に撮影し、その中の1つを番組のディレクターが選んで電波にのせて各家庭のテレビに送っているわけですが、すべてのカメラの画像が同時に送られて視聴者側で視点（カメラ）を選べれば、見たいところが見られるわけです。DVDには同時に複数のカメラで撮影したすべての画像が記録されているものがあり、プレーヤー側で視点を変えられるものがあります。これをマルチアングルディスクといいます。

アスペクト比

テレビ画面の横と縦の比率をいいます。通常のテレビでは、4：3ですが、ハイビジョンテレビやワイドテレビは16：9の比率となっています。横に広がった臨場感溢れる映像が楽しめるようになっています。

パレンタルレベル

英語の綴りでは、PARENTAL（パレンタル）です。これは、PARENT（ペアレント）（親、両親）からきています。これから解るように、親が、子供に見せたくない映像に制限が付いているものです。

コンディションメモリー

コンディションとは、状態などをいいます。本機では、再生しているときのさまざまな状態を記録しておき、再び同じディスクを楽しむときに、再設定をせずに楽しめる機能です。

言語字幕

映画などでおなじみの字幕の言語です。DVDでは字幕の言語を最大32カ国分記録することができ、その中からお好きな言語を選んで楽しめる機能です。

リージョン No.

DVDプレーヤーとDVDディスクは発売地域ごとに再生可能地域番号（リージョンNo.）が設けられており、再生するディスクに記載されている番号にプレーヤーの地域番号が含まれていない場合は再生できません

●本機のリージョンNO.は後面部に表示されています。

再生可	再生不可
プレーヤー：2　ディスク：1 2 3 4 → 再生可 プレーヤー：2　ディスク：1 2 4 → 再生可	プレーヤー：2　ディスク：1 3 4 5 → × プレーヤー：2　ディスク：1 3 → ×

光デジタル出力

音声は通常、電気信号に変えて電線でプレーヤーからアンプなどの他の機器に伝達しますが、これを光ファイバーを使ったデジタル信号に変えて伝達できるようにしたものが光デジタル出力です。（アンプなどの受け取り側は光デジタル入力になります。）

本機は光デジタル出力の設定を変更できます。

・PCM/DOLBY DIGITAL：ドルビーデジタル（AC-3）デコーダを搭載したアンプのドルビーデジタル（AC-3）光入力端子と接続する場合に設定する。

・PCM：通常のアンプ、ドルビープロロジックアンプなどの光入力端子と接続する場合に設定する。

ダイナミックレンジ

ひずみ無く信号を伝送、変換する最大のレベルと雑音その他、機器の性質で制限される最小レベルの差をいいます。単位はデシベル（dB）を使います。

保証とアフターサービス

保証書（別添）
保証書は必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保管してください。

保証期間は購入日から 1 年間です。

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後最低8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご質問、ご相談は
お買い上げの販売店または、最寄りの当社サービスステーションをご利用ください。
所在地、電話番号は別添の「ご相談・修理窓口のご案内」をご覧ください。

修理を依頼されるときは
54 ページに従って調べていただき、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店または、お近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

連絡していただきたい内容について：
- **品名　DVD プレーヤー**
- **品番　DV-S9**
- **お買上げ日**
- **故障の状況「できるだけ具体的に」「ディスクのタイトル」**
- **ご住所　「付近の目印も合わせてお知らせください」**
- **お名前**
- **電話番号**
- **訪問ご希望日**

保証期間中は：
修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理致します。

保証期間が過ぎているときは：
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

仕様

一般
形式 .... DVD、ビデオ CD およびコンパクトディスクデジタルオーディオシステム
電源 .... AC100V、50/60Hz
消費電力 38W
本体質量 15.0kg
外形寸法.. 420（幅）× 370 ×（奥行）× 143（高さ）mm
許容動作温度 .... ＋ 5℃～＋ 35℃
許容動作湿度 .... 5%～85%（結露のないこと）

S2 映像出力
Y 出力レベル .... 1Vp-p（75 Ω）
C 出力レベル .... 286mVp-p（75 Ω）

映像出力
出力レベル .... 1Vp-p（75 Ω負荷時、同期負）
出力端子 .... ピンジャック

コンポーネント映像出力＜ 1 系統＞
（Y、Cb、Cr）
出力レベル .... Y：1Vp-p（75 Ω）
Cb、Cr：0.7Vp-p（75 Ω）
出力端子 .... ピンジャック

音声出力＜ 2 系統＞
出力レベル
音声出力 .... 200mVrms（1kHz、－ 20dB）
チャンネル数 .... 2 チャンネル

その他の端子
光デジタル出力（PCM/ ꟷꟷ (光)） .... 光コネクター
同軸デジタル出力（PCM/ ꟷꟷ） .... ピンジャック
同軸デジタル出力（PCM） .... ピンジャック
コントロール入力／出力 .... ミニジャック（3.5 φ）
光デジタル入力（PCM） .... 光コネクター
同軸デジタル入力（PCM） .... ピンジャック

付属品
リモコンユニット 1
単 4 形乾電池（R03） 2
オーディオコード 1
ビデオコード 1
電源コード 1
取扱説明書、安全上のご注意、保証書、
ご相談窓口・修理窓口のご案内 .... 各 1
●本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

索引

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

ら行

アルファベット

お客様ご相談窓口（修理に関しては別添『ご相談窓口·修理窓口のご案内』）参照

お客様相談センター		●03－3491－8181		
技術相談窓口	◎札　幌	●011-644-4779	◎大　阪	●06-353-3705
	◎仙　台	●022-375-4417	◎広　島	●082-228-2239
	◎名古屋	●052-532-1141	◎福　岡	●092-441-8076



長年ご使用のオーディオ製品の点検をおすすめいたします。こんな症状はありませんか
- **電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。**
- **電源コードにさけめやひび割れがある。**
- **電気が入ったり切れたりする。**
- **本体から異常な音、熱、臭いがする。**



すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、故障や事故防止のため電気店または当社サービスステーションに点検（有料）をご依頼ください。

お客様メモ

●おぼえのため記入されますと便利です。

ご購入店名	**住所** **電話番号**	**お近くのご相談窓口**	**住所** **電話番号**
ご購入年月日	**年　　月　　日**	**型　番**	**この機種は DV-S9 です**



この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

 パイオニア株式会社 〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

<98C00WF0D01> <VRA1141-C>